

資料編

- ◇自由回答の整理
- ◇調査票
- ◇付属統計表
 - ・団体調査基礎項目集計
 - ・個人調査基礎項目集計

団体調査 問 15 付問 どのような制度や基金で支援活動を行いましたか。具体的な名称をご記入下さい。(自由回答)

支援活動を行った制度や基金		n
「新しい公共」モデル事業		18
業務委託		17
緊急雇用支援事業		16
国・自治体の補助金		15
独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成金		8
福島県地域づくり総合支援事業		8
絆再生事業 がんばろう福島“絆”づくり応援事業		4
復興の担い手支援事業		4
障害者総合支援法 被災障害者支援、障害児童の居場所づくり		3
指定管理制度		2
内閣府復興支援型地域社会雇用創出事業		2
パーソナルサポートモデル事業		2
復興応援隊制度		2
復興支援の担い手の運営力強化事業		2
ふるさとふくしま帰還支援事業		2
PCAT東日本大震災支援プロジェクト		1
かながわ人づくり助成金		1
障がい児通所支援事業		1
障害者福祉サービス事業就労A		1
スポーツコミュニティ形成促進事業		1
ノウハウ移転補助事業		1
ふくしま産業復興雇用支援助成金		1
みちのくに国づくり支援事業		1
宮城県震災復興担い手NPO等支援事業		1
新しい東北先導モデル事業		1
石巻地域課題解決型人材育成業務		1
石巻地域学校と産業をつなぐ人材育成・体制強化支援事業		1
街なか復興イベント助成金		1
介護施設等復旧支援事業補助金		1
介護職員処遇改善交付金		1
外務省無償資金贈与		1
観光客受入体制整備事業		1
基本的な生活習慣習得事業		1
県の環境アトバイザー派遣事業		1
県の社会貢献活動を促進するための事業予算		1
更生保護被災地域就労支援対策強化事業		1
災害復旧補助金		1
災害復興助成金		1
支え合い体制づくり事業		1
地域活動補助金		1
市民活動推進事業		1
社会的起業人材創出インテンションシップ事業		1
支援活動を行った制度や基金(左表からの続き)		n
社会福祉施設整備費		1
障がい者福祉サービス		1
小規模精神障害者共同作業所補助金		1
商店街活性化事業		1
仙台市メモリアルプロジェクト		1
専門家派遣制度		1
創業・ビジネス支援人材育成事業		1
総合型地域スポーツ推進委員会		1
地域活性化支援事業		1
地域活動支援センター事業		1
地域子育て支援拠点事業の委託		1
地域再生助成会		1
地域づくり支援事業		1
地球環境基金の特別助成金		1
中小企業、小規模事業者ビジネス創出等支援事業(ミラサポ)		1
東北関東大震災障害者救済本部からの助成金		1
都市、農村、共生対流総合対策交付金事業		1
内閣府「ソーシャルビジネスネットワーク大学」事業他		1
東日本支援基金		1
東日本大震災DV・女性被災者支援内閣府派遣事業		1
被災家庭への支援事業への補助金		1
被災者交流・生活再建支援事業(県)		1
被災地雇用事業		1
被災地支援助成金		1
福島県災害復興予算		1
福島県産農林水産物PR支援事業		1
福島県スポーツ振興基金		1
福島県生活復興支援事業		1
福島県総合社会福祉基金		1
福島県相談支援・充実強化事業		1
福島県地域の寺小屋設置支援事業		1
福島県寺子屋支援事業		1
福島県民間団体企画提案事業		1
福島県震災関連緊急支援補助金		1
福島県風評被害の払拭事業		1
復興支援型地域社会雇用創出事業		1
放課後児童健全育成事業の助成金		1
学びを通して被災地の地域コミュニティ再生支援事業		1
みやぎ地域復興支援金		1
盛岡市提案型復興推進事業		1
文部科学省復興教育支援事業		1
不明		9

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
採用される人材の資質			
39	経験(体験的)の多い人の確保。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
44	行政の退職者を受け入れる。(補助金、助成金等の申請に詳しい人)募集中。若い人が入って来ません。60才以上のやる気のある人を募集しています。	保健・医療・福祉	無回答
46	資金集めについて助成金の申請等の文章力に能力のある人がいると活動がしやすい。	経済活動の活性化	0万円
63	専門職のNPOの団体ですので、資格があり、その資格を十分に生かし、活動的でやる気のある人材の方を採用しています。性格が明るく、前向きな姿勢をもって、自ら動いていける方を望んでいます。	保健・医療・福祉	無回答
66	創造力、想像力の高い人。心身共に健康な人。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
72	定年退職された方で法人の目的に賛同してくれた方、尚かつ専門的な知識のある方(給与・謝金面で低コスト・豊富な知識)。イベント大会等、若い方・企画力・行動が素早い(体力)。	学術、文化、芸術、スポーツ	1,000～3,000万円未満
84	農業の灌漑に関する専門家や、バイオに関する専門家の人材。カンボジアへの進出企業の為の現地の支援人材。	国際協力	0万円超～100万円未満
106	事務(図書館管理)受託のためある程度専門業務のできる人。	社会教育	500～1,000万円未満
119	65才以上の年金受給者の有償・無償ボランティアを活用する工夫が大切と考えています。	国際協力	1億円以上
136	NPOは、雇用の受け皿としての機能をもつことを意識し、人材面では特に社会貢献の志ある方を中心に求め、老若男女に関係なく世代を広げています。	社会教育	1,000～3,000万円未満
141	NPO専属で働ける人材を確保できるようにしていきたいと思っています。	経済活動の活性化	0万円超～100万円未満
155	NPO法人を自分のステップアップの土台として考えて就職している方がいます。ここで離職していた間の不安を除くと、次のところへ自信を持って看護師として就職しようとしています。人材として不安のある人、今はこのような人を見分けることができるようになり、ことわる勇気も必要だと考えています。意欲のある金銭面ばかりをみない人を採用します。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
159	UIターン者のNPO会員加入と活動強力依頼大変役立っていただいております。是非活用を。理由(1)経済的に余裕のある方が多い(2)地域になじもうと協力してくれる(3)しがらみがない。	まちづくり	500～1,000万円未満
161	ある程度出来上がっている人を探します。ほとんどいませんが。	環境保全	500～1,000万円未満
176	この大震災で失業者を多く出し、その失業者を雇用しましたが、常識と良識のある人でなければ結局はマイナスを生じさせるので、人助けという善意だけではうまくいきません。	農村漁村・中山間地域振興	0万円超～100万円未満
209	できるだけ専門知識のある人を巻き込む。	環境保全	0万円超～100万円未満
214	できる人より思いのある人を採用します。組織に雇われるという感覚ではなく、共に創り上げていくという意識がないと続かない仕事だと思います。面接時点でそれを見極めるのはとても難しいことです。	環境保全	500～1,000万円未満
230	パソコンやメールが出来る人を採用しないと運営が大変となる。	まちづくり	500～1,000万円未満
239	プロボノ活動の推進。これからは在職中に持っている専門知識を活して社会貢献することが重要。	まちづくり	0万円超～100万円未満
240	ホースセラピー事業が主なので、動物愛護精神のある方、子供好きの方、無償でも参加して下さる方等、紹介など依頼しています。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
246	ボランティアの見返りを求める者は加入させない。	学術、文化、芸術、スポーツ	0万円超～100万円未満
278	やり過ぎない人、頑張り過ぎる人はトラブルをおこし人との関係がいろいろ生じいところが生かされず短命で終わってしまうから少しゆつくりの人の方がNPO法人で活躍する人がよいと思う。	無回答	100～500万円未満
279	やる気がありすぎても空回りしてしまう。おっとりしすぎていると気が回らない。人対人の仕事なのでバランスの取れた人材を口込みで増やしています。	保健・医療・福祉	無回答
280	やる気のある人、情熱を持っている人を求める。	まちづくり	5,000～1億円未満
281	やる気のある方には門戸を広くし、積極的に支援を行う。	社会教育	100～500万円未満
286	意欲だけでなく、実際に活動できる(家庭事情、健康などで問題のない)人材の確保が大切。	無回答	0万円超～100万円未満
288	意欲を持ってやってくれる人。機動力のある人。	子どもの健全育成	100～500万円未満
310	何事にも興味を持っている人が良い。	農村漁村・中山間地域振興	0万円超～100万円未満
313	過去のキャリアや専門制を重視して採用している。	消費者の保護	無回答
329	会員は、高齢者ばかりなので若い会員を増やしたい。若い人はフットワークが良い。	環境保全	0万円超～100万円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
344	学校を定年退職した元教員を役員にしている。地域の高齢者の技能などを、NPO活動に生かしている。	保健・医療・福祉	0万円
349	楽しみながら活動に参加できる人を募っています。また、1人1人がそれができるように周囲が工夫しています。	国際協力	500～1,000万円未満
365	企画力、対人影響力のある常識人で人己犠牲を惜しまぬ人材の採用。責任感の無い人は、辞めてもらう。	科学技術振興	3,000～5,000万円未満
377	給料が低額であり定年退職者を中心に知人・友人を通じて求人活動を実施している。	保健・医療・福祉	1億円以上
387	経営管理の中心には企業や行政で管理職経験者が入っていた方が良い。少数者での運営には守備範囲の広い人材が必要。	保健・医療・福祉	1億円以上
403	謙虚でやる気のある方。	社会教育	100～500万円未満
411	現役社員時代のノウハウを生かして社会貢献をする人を選定している。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
417	個人のスキル・能力より、人間性重視で採用し、日頃の運営・マネジメントもその点を重視。	農村漁村・中山間地域振興	1,000～3,000万円未満
437	行政、社会福祉法人、福祉業務経験の豊かな方をボランティアとして協力をもって活動している。	人権擁護・平和	100～500万円未満
457	採用時に適正検査を受けてもらっています。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
460	財政的に立ち上がるまでは協力いただける企業さんからの出向者を人材として利用することが重要です。	経済活動の活性化	3,000～5,000万円未満
477	支援を受ける地域にとって有益である人材と知徳者、利他主義的な人材と、笑顔で接する、裏のない人。	子どもの健全育成	500～1,000万円未満
479	支援員の人材確保が難しいのですが、口コミで障害者に理解のある人材を、探すようにしています。	保健・医療・福祉	無回答
488	私どもでは職員採用に当たっては経験者を優遇しています。それは多くの職員を抱えることが出来ないために、一人が何役もこなさなければならないためです。40代で転職してきた者もありますが、彼らは豊富な社会経験を基に上手に役割をこなし、日々大活躍しています。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
510	事務局(役員)ボランティアともに会員の中から見つけてます。活動に熱心な会員、その人のキャリアで会に貢献できるかどうか、経済的、時間的に余裕があるかなど、事務局長が中心に人材発掘に努めています。	国際協力	100～500万円未満
527	社会の第一線をリタイアした後、今までの経験を生かして活動できる方。	消費者の保護	1,000～3,000万円未満
528	社会貢献意識の高い、自立性のある、専門性の高い、協調性のある人材。	無回答	500～1,000万円未満
531	社会的に確とした働きを終えたシニアの方達を特に大切に考えています。年齢は高くても、高齢者の支援という意味でも大切として、採用を考えています。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
546	若い人達の加入を願っています。現実にはなかなか困難で、会員の高齢化は年々深刻になっています。子育てや仕事が大変な事もわかっているので、積極的にすすみません。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
557	若返りを意識する。今、最低年齢63才です。ホームページ開設勉強中です。	環境保全	500～1,000万円未満
561	主体的に参加してくれる人の発掘 催し毎に実行委員(スタッフ)を募集。	学術、文化、芸術、スポーツ	100～500万円未満
569	従業者及びアルバイト・ボランティアを依頼するときは、資質の高さがあること、法人が求めているサービスを提供できる技量があることを確認します。あとは年月をかけて利用者と一緒に、細かな特性を理解していただくようにしております。運営の理念を実行するためには、人材の資質がかかせないところです。	保健・医療・福祉	500～1,000万円未満
573	助言するような団体ではないので特にありませんが 人材に関して苦労してるのが若い方の参加です(ひとつづくり) これからの、団体を背負ってもらえるよう、訓練として、ひとつの事業をまかして進めています。事業の企画から運営まで責任を持って活動してもらっています。	まちづくり	5,000～1億円未満
584	小規模の為人材育成に苦慮しているので、経験者を雇用する。	農村漁村・中山間地域振興	3,000～5,000万円未満
587	消費者問題(団体目的)に積極的意識と専門的知識の保有者を発掘、啓発してすそ野人材の開拓。	消費者の保護	5,000～1億円未満
588	消費者問題に関心のある人材を求めています。目立つ事は好きなのですが、底辺のお仕事はきらい長続きしません。横のつながりを大切にしており、責任を持って活動することをモットーに今日迄続けております。	環境保全	100～500万円未満
592	障害のある人と共に生活することへの深い理解と協力を惜まない人を求めているし、その結果がメンバーの生活に反映されるように努力している。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
594	障害者の立場(気持ち)になって、物事の判断、指導ができる人材。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
598	障害福祉サービス業を営み、有給職員が退職すると、かわりの有給職員を見つけるのに苦労する。結局コネを通じて、人材を募集するようになる。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
599	障害福祉サービス事業の運営について 若い人材(25才～35才)を雇用している。保育士などの人間相手の仕事の経験は重要視。また、お客さん相手のサービス業の経験も貴重。研修費に年間10万円を使って、職員一人一人の力量を高めている。社会保険の完備、退職金制度は良い人材を確保する上で考える必要あり。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
600	障害福祉サービス事業を運営しているため、福祉サービスの経験者の人材確保に努めている。また法人規模が大きくなると事務も煩雑になるため、経理、労務など事務のできる人材の確保も必要と感じている。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
611	職員はいない全てボランティアでやっているため人材確保が難しいので口こみでさがしている。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
617	職員採用はハローワークを通して募集していますが、給与額が低いことで結果的に定年退職者の応募が多くなっている。知識と経験豊富な方を採用することで法人の事業運営に貢献していただいております。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
627	人の話を聞き、問題点を探し出せる人。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
639	人材の絶対数不足、教育界への働きかけを行っている。	子どもの健全育成	100～500万円未満
656	人材面では、社会福祉に関わるヘルパーや介護福祉士を選んでいる。	保健・医療・福祉	無回答
663	人脈を大切にしている。	環境保全	100～500万円未満
668	精神障害をもつ人の通所施設です。専門性を持ちながらも、おしつけがましくない、ゆったりした人柄の方が、望ましいと感じています。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
681	設立当時から年月が経つに連れ、理事職の年齢もUPし、体力低下や病気などで活動が難しくなり、脱会する方が目立ってきているので、随時若い方の登用を計っていくよう心掛けている。	農村漁村・中山間地域振興	0万円超～100万円未満
685	専門の知識や経験が豊富な人材確保が必要。	学術、文化、芸術、スポーツ	1,000～3,000万円未満
688	専門職については地元には人材がないため、幅広く全国より募集し、それなりの待遇を用意して確保している。	子どもの健全育成	1,000～3,000万円未満
691	専門知識を持った、定年退職した人を積極的に勧誘しています。	地域安全	100～500万円未満
697	前向きな人。	保健・医療・福祉	無回答
698	全て企業で働き、ボランティアに参加する事に意義を感じてもらえる人達を集めてもらう。	環境保全	無回答
704	組織運営の能力には限界があるので、出来る丈仕事の分担を如何にするかが重要と思われれます。ねばり強く、協調性に富んでいる人材が欲せられる。	学術、文化、芸術、スポーツ	無回答
706	総務、経理等高度な事務経験のある人材。施設運営に関して必要な資格を持っているか、早急に資格を持てる人。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
707	即戦力となる人材確保。	保健・医療・福祉	無回答
708	卒業生(退職者)と若い人との両立。	学術、文化、芸術、スポーツ	100～500万円未満
714	他企業退職者を再雇用。	まちづくり	1,000～3,000万円未満
716	多様な趣味・特技を持った人材の確保。	学術、文化、芸術、スポーツ	無回答
718	体育協会なのでスポーツに精通している人材を採用しています。	学術、文化、芸術、スポーツ	500～1,000万円未満
722	退職者の専門性の確保。	情報化社会の発展	0万円超～100万円未満
732	団体の運営には自治体や教育関係の退職者等に協力を求めている。経験が豊富で社会貢献の意識の高い人が多い。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
740	知識・経験共豊富な定年退職者を役員に迎えている。また、弊会に加盟している福祉事業所と企業からそれぞれの責任者を役員にしています。	保健・医療・福祉	500～1,000万円未満
741	知人などを中心に組織拡大をはかっている。	まちづくり	無回答
742	知的な障害のある方々の支援を中心として活動をしているため、職員の採用に当たっても、研修に際しても「本人の意志」を大切に考えています。従って、職員は資格や学歴ではなく、障害のある人とまともに向き合っ受けてもらえる感性を持っている人を育てることをめざしています。福祉以外の分野からの人材が活躍するケースも多いです。柔軟さが大切です。	保健・医療・福祉	1億円以上
755	長く安定して働ける人を採用していきたいと思ひます。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
758	長期に活動してくれる人を育てるために有償の部分や働きがいのある方面へのお誘いなども適ぎ実行している。	子どもの健全育成	1,000～3,000万円未満
765	定年退職者の積極的な雇用。	農村漁村・中山間地域振興	100～500万円未満
776	途上国の農業、特に畜産関係の技術指導を実施しているため、畜産関係の技術者の協力を得るよう努めている。	国際協力	500～1,000万円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
777	灯をかかげうる人材 灯を創出出来る団体。	子どもの健全育成	0万円超～100万円未満
780	当NPOは役員の方々のボランティアのみで運営しています。人材についての財源確保はなかなか厳しい状況であるため、時間に余裕のある人の確保が重要です。	人権擁護・平和	0万円超～100万円未満
789	当協会の理念を充分理解し、業務を発展させていける積極的な人材。	職業能力開発・雇用機会	500～1,000万円未満
791	当事者経験があること。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
793	当団体の事業への感心があり、また、専門的な知識を有している人材を確保し、意見を多く取り入れる。	子どもの健全育成	1,000～3,000万円未満
798	当団体は知的障害者に日常的なスポーツ(余暇)の提供を行なう活動を支援しておりますが、常に人材(ボランティア)が不足しております。その為学校の活動と連携して学生ボランティアを多く活用しています。社会人ボランティア(活動が主に土日祝日のため)が定着できるよう活動していきたいです。	無回答	500～1,000万円未満
802	当方に有償スタッフまた、ボランティアはおりませんが、事業を進める上で、いかに多くのプロボノ人材と関係を築くことができるかが、運営面・資金面で重要かと思えます。	NPO支援	0万円超～100万円未満
818	当法人は福祉事業であり、福祉に対して理解のある人でないと長期間の労働には耐えられないので、試験任用期間を十分に活用して採用している。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
823	透析患者さんの送迎をしているので、運転の上手な方で定年退職者の方を採用の中心としている。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
831	同一企業の定年退職者を活用していく。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
933	乳幼児の保育にあたる仕事なので、すぐれた人材を雇用するようにしている。	子どもの健全育成	1,000～3,000万円未満
942	年代的には就業経験を持ち、社会貢献的的事业に関心のある30代～40代を雇用している。中間支援としては社内外の人や組織の築りを常に意識し情報入手、又事業に対して横断的な効果をもたらすことを考えられる人材である必要がある。コミュニケーション能力必須+何かの専門性欲しい。	保健・医療・福祉	無回答
943	年齢にこだわらず、人柄を重視して採用している。	保健・医療・福祉	1億円以上
965	福祉に理解のある人を面接の時、必ず、申し出ます。	NPO支援	3,000～5,000万円未満
971	福祉職に従事していた方で対人援助職に適した人材(生活経験や穏やかで、傾聴できる方であれば年齢が60才以上でも採用可にしています。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
973	福祉有償運送という事業内容から、運転する人材が必要となるが、利用する方々が、身障者や高齢者の為、あまり若い人材だと、話が合わない面があり、定年退職者を積極的に、採用している。最近では60才でも十分に若く、仕事も十分にこなしてくれる事もあり、非常に助かっている。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
1009	民間、行政等で、現役時代(仕事)で活躍された分野、キャリア、知識が、活かせる活動に、人材を集められると良い。(仕事が活かせるNPO)	環境保全	1,000～3,000万円未満
1015	無償ボランティアなので、やらせていただいていると思わないとこの仕事はできない。公務員等で定年退職をした人に人伝で信用のおける人に声をかけている。認定NPO法人になるために努力している。	社会教育	100～500万円未満
1016	無償ボランティアをいかにふやせるかが重要！！	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
1017	明確な意思をもって参加する人材が必要です。	保健・医療・福祉	500～1,000万円未満
1037	有償職員の雇用では、賃金が低いため確保に苦労しているが、粘り強く採用活動をし、意欲をもっているかというところを中心に採用している。工夫ということではないが、あきらめずに採用活動を行っている。	無回答	5,000～1億円未満
1055	労力のわりにお給料が少ないし、寄付金が大きな収入源なので、気持ちよくお仕事をしてくれる方を採用しています。でも、お手伝いや援助は基本断らず、していただけることに感謝しつつやっています。	子どもの健全育成	500～1,000万円未満
1059	高齢者や障害者、母子家庭の方々を優先的に採用している。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
運営方針や理念の共有・徹底			
25	ミッションへの共感。一緒に働きたいと思えるかどうか。 多様な個性のバランス。	農村漁村・中山間地域振興	1,000～3,000万円未満
131	NPOの主旨を正しく理解し、それぞれの意思をもって活動できるように 運営管理をしていくこと。	環境保全	1,000～3,000万円未満
132	NPOの主旨及び、事業に関する理解を深めていける様に育成すること。	保健・医療・福祉	無回答
137	NPOは「理念」が命。人は入れかわるので、それを伝えていくことが大切。当法人もそこは大変苦心している。	保健・医療・福祉	1億円以上
146	NPO法人とは、その目的を良く理解できることが、大切だと思う。一人一人の職員にそのことが求められると思うが、なかには、そうでない方もいるので、大変である。ただ自分の働く場があれば、いいと思うような職員もいることがある。採用にあたっての重要なことと思うし、中高年の女性にそれが言えるものを感じる。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
163	いつも立ち戻るのはミッション。ミッションの共有を職員間で常に意識して運営にあっている。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
311	価値感を共有し、目的をゆずらず、営利団体と違う誇りを持ち運営したいと思えます。	子どもの健全育成	500～1,000万円未満
357	活動を継続することを大事にしているので、当法人の目的を理解し、自主的な活動参加であることを自覚してもらおう。	男女共同参画	100～500万円未満
371	機会ある毎日に、団体の理念を常に共有するようにしています。すると新しいアイデアも出てきやすいです。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
471	志、想いを伝え、共感してもらおう。	社会教育	0万円超～100万円未満
481	施設の目的を明確にして、目的意識的取組をすすめる。リーダーはその目的を率先して実行する。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
521	自分達の活動の意義、重要性を深く理解して頂く事が大事。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
530	社会性の高い活動を続けることが一番必要と思われれます。その活動をみて、共感されれば人材面の確保も出来ると思えます。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
677	設立の理念を日々の煩わしさに感わされず、貫くことで、良い人材は集まってくると思えます。地方は特に名士や地位の高い人が、活動の内容もよく理解されずに理事などの収まるが多く見受けられます。たとえ小さな存在でも、創設者は、NPO活動を通して培ってきた力に自信を持って最後まで責任者になるべきと思えます。そうすれば、良い人は集まってきます。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
678	設立は簡単、運営に厳しい。目的意識の徹底。	農村漁村・中山間地域振興	0万円超～100万円未満
680	設立時の基本理念を常に実践的に具現化する姿勢を貫くこと。そこに共感できる人材を求め運営すること。	保健・医療・福祉	1億円以上
684	設立目的を理解してくれるとともに、目的を達成しようとする意欲と工夫をする人材の確保が重要である。そのため、採用する段階で企画書の提案などを求めている。	まちづくり	1億円以上
778	当NPOの使命と活動の意義について折に触れアピールしている。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
799	当団体は東日本大震災という特殊な状況下で組織され被災者支援という目的だけで活動している。今後については、検討していかなければならないという認識されているが具体的指針はない。何を活動の柱とするか長期の目標を立てた活動をされたい。	無回答	1,000～3,000万円未満
800	当団体は特殊な目的で設立されており、あまり参考にならないと思われるが、基本的に同じで設立主旨に賛同する人でないと、継続は難しいのではないのでしょうか。特に給与水準も低いことも雇用にあたって明言しておくべきと思えます。	学術、文化、芸術、スポーツ	1,000～3,000万円未満
931	日々活動を行うなかで、活動に参加してくれている仲間や、興味を持って新たに参加してくれた仲間にクラブの想いやビジョンを伝え、共感してくれる人を1人でも増やすことが大切です。そして、共に働いてくれる仲間を見つけていくことが良いと考えております。	学術、文化、芸術、スポーツ	1,000～3,000万円未満
934	入会前に、会の活動趣旨をじっくりと説明し、賛同してくれる人に入会してもらおうことが、会の運営を円滑に行う秘訣だと考えている。活動の方向性に迷ったら活動趣旨に照らし合わせることで、正会員をやみくもに増やすことを焦らないことが、会員が友好的にやりがいを持って活動できることにつながると思う。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
946	能力のある人材は大勢いますが、志を同じくする人であるかどうかが一番大事なのではないのでしょうか。総合研究所としてのミッションが何であるのかの共通認識を確認し合うよう理事の意志疎通を大事にしています。	社会教育	1,000～3,000万円未満
990	法人の理念、使命、目的を実現するために活動にコミットしようとする意見、意欲をできる限り尊重すること。	環境保全	3,000～5,000万円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
研修・育成			
11	「素人のプロフェッショナル」をキャッチフレーズに、主たる利用者である高齢者の理解を深め、かつ専門的な知識を身に付けるべく、カンファレンスや研修を行なっている。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
14	職員が各種スポーツ指導員の資格を取得出来るようにしている。	無回答	3,000～5,000万円未満
22	ビジネスの基本を一から指導している。自ら起業できるように、IT、財務、マーケティング、法務、全般にわたり指導している。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
37	教育計画(1年)を作り、本人とシェアしている。お世話係をつけ、OJTをしている。(1年) 社外研修にも、積極的に送り出している。	国際協力	3,000～5,000万円未満
38	業務のローテーションを行い複数人が業務に係われるようにする。研修などに積極的に参加させる。発表の機会を与える。	環境保全	3,000～5,000万円未満
56	職員会議、職場内研修で、障がい者の立場に立った「寄添」「傾聴」などの基本に立ちかえって論議をし深める努力をしている。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
62	積極的な外部研修の参加。年数回の内部研修。資格取得の支援。	保健・医療・福祉	1億円以上
81	日本がん治療学術集会、「公的活動」がんサミット会議などに積極的に参加させる。IC教保特にPCの使い方の教育。講演会などに講師を担当させる。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
125	NPOにおけるボランティア活動の人材は、当法人で行なっている居宅介護収入で得た財源により、研修を受け活動してもらっています。研修を受けない人は、ボランティアとして受け入れていません。活動は、障害者高齢者への制度で対応できない部分で活動しています。障害者(児)への病院への友愛訪問が主です。有償ボランティア制度で1時間600円の支払いです。その財源確保の為に、居宅介護事業に参入しています。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
149	NPO法人の課題は継続だと思っているのでやる気のある若い人をしっかり育ていくことが大事だと思います。	学術、文化、芸術、スポーツ	3,000～5,000万円未満
191	スキルアップ研修を実施。	学術、文化、芸術、スポーツ	100～500万円未満
193	スタッフのやる気を起こすために、福祉や市民活動の先輩達に講師をお願いして、スタッフミニ研修会を、年数回実施また、各スタッフに利用者の外出支援などの企画を立ててもらい実施して実感をてもらっている。	保健・医療・福祉	500～1,000万円未満
197	スタッフ養成講座の開催。	人権擁護・平和	1,000～3,000万円未満
251	ボランティアよりも有給スタッフの育成に力を入れており、その人材が地域の力を引き出せるような取組みを行っている。	NPO支援	1,000～3,000万円未満
254	ボランティア意識の高い人材を育てるよう、NPO法人としての設立目的を常に伝える様にしている。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
275	メンバーの教育と自己研鑽(学習会・研修会)。	社会教育	100～500万円未満
290	育成、女性、高齢者、非正規従業、職業教育能力を与える。	保健・医療・福祉	0万円
298	一般企業同様、その時代の変化に適応できる人間力の伴った人材の育成。	子どもの健全育成	1,000～3,000万円未満
321	介護保険での通所介護、有料老人ホームの運営が、良きものになるよう介護職員のキャリアアップや技術知識の向上を目指している。	無回答	3,000～5,000万円未満
324	会員の研修を定期的実施。企画を会員全員で立案、実施。	農村漁村・中山間地域振興	無回答
354	活動に対しては、費用弁償・運営費支給を必ず行い、モチベーションの維持向上につなげている。研修や講習に積極的に参加し、団体に所属している意義を感じてもらい、人材育成を図る。	子どもの健全育成	1,000～3,000万円未満
366	企業OB、特に技能(特技)に秀でている方の技の伝承。	経済活動の活性化	0万円超～100万円未満
380	教育研修、情報共有の無料勉強会を実施している。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
381	業務に関して共通の認識で介護にあたるべく職員会での研修等は、きちんと実施し、研修もつんでいる。自分の意見を人前できちんと述べること等、うながし、実践にむかうべく努力している。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
385	携わる人達の知識の向上、我々は定例勉強会をやっています。	学術、文化、芸術、スポーツ	0万円
395	研修を充実させる努力を行ってきた。中間支援センターからの助言を積極的に取り入れると共に、外部への派遣研修も行い、スタッフの人派を拡げることに意を払ってきている。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
398	研修等の機会を通じ、職員の専門性を高め、介護レベルを高めていきたい。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
399	研修等の場をもうけ、レベルアップを計っている。	環境保全	500～1,000万円未満
400	研修等を通じた全員のレベルアップ。	まちづくり	0万円
414	個々のスキルアップを計るために、全国研修、講演などに参加させている。又、当法人で他の法人と協力して研修会などを計画し、実行している。	保健・医療・福祉	1億円以上

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
416	個々の潜在能力をできるだけ引上げ顕在化させる。企業で働いていた方はボランティア精神が乏しい場合があるので、研修などにより改造をします。逆にボランティアに偏る方は「利益がないと活動は継続できない」ことを指導する。	職業能力開発・雇用機会拡充	1,000～3,000万円未満
418	個人の技能、知識向上の為の研修の件数を多くし人に対し投資をしている。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
441	講演会への参加などメンバーの活動分野での人脈の確保に心がけている。	まちづくり	0万円超～100万円未満
443	高校生、大学生ボランティアを運営委員として、組織スタッフとして、企画・運営に参加させる。	環境保全	100～500万円未満
485	私たちのNPO法人は障害者を対象とした事業所であるため、専門的な知識を要求されることもある。給料が少なく、専門職を雇うことが難しいため、職場内外での研修を行い、専門の資格をとれるようにアドバイスしている。	保健・医療・福祉	500～1,000万円未満
503	事業に関連した、研修や講習に参加させ専門的な知識や技術を習得させている。	無回答	3,000～5,000万円未満
512	事務局人材のスキルアップと個性を活かす。	環境保全	1,000～3,000万円未満
541	若い人には団体内で役立つ知識を身につけるのではなく、どこに行っても役立つ知識、個人が成長できる知識を身につけられる様に、研修会、セミナー等に参加してもらい、また、他団体との交流の場を定期的に確保している。	無回答	3,000～5,000万円未満
552	若手(40代)の常勤者を理事とし、運営に対する責任感と自分達が将来支えるという自覚を持ってもらうようにしている。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
553	若手に責任のある仕事を任せる。	学術、文化、芸術、スポーツ	1億円以上
591	障がい福祉を主とする事業内容の為、各職員の専門性の個人のスキルアップにつなげることができる様、現職員が勤務しながら、積極的に資格を取得できるようにつとめている。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
593	障害者(身体、精神、知的)の就労支援が目的で設置されたNPO法人で、福祉会館の管理、警備、清掃業務に従事されているが、個々の能力差があるため、日々訓練を兼ねた指導を行っている。	職業能力開発・雇用機会拡充	1,000～3,000万円未満
608	職員の資質向上を図るため、研修を大切にしており、2ヶ月に1回は研修を行っている。又、外部研修の情報も積極的に周知している。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
622	親子で入会するという団体の性質上、母親の発案で実施したいことを企画運営する機会が多い。苦心しながら会員同士が協力し合い、実施できた達成感を得る体験を積み重ねて、自信と力をつけていくようにしている。	学術、文化、芸術、スポーツ	500～1,000万円未満
664	水泳・水中運動の指導を主として行なっているため、指導能力の向上が重要なので、研修会や実践の場を提供している。	学術、文化、芸術、スポーツ	1,000～3,000万円未満
665	世代交代により、技術が途絶えないように技術の継承に注力しています。	環境保全	1,000～3,000万円未満
695	専門分野のため、人材の一般化は極めて難しい。日本の将来の産業、文化を意識改革の次で扱うため、深い経験と社会的視野を持つ者の自発的な応援と協力を求めている。一度、本質を知った者や、応援対称組織(現在は被災地の公立中学校)との縁を深めている。	学術、文化、芸術、スポーツ	0万円超～100万円未満
759	定期的な職員研修を実施し、意識向上とスキルアップに努めている。	子どもの健全育成	3,000～5,000万円未満
804	当法人の運営内容が、障害者のグループホームであることから、職員には、受容をモットーとするも、人としてのケジメには厳しく対応するよう日々教訓しております。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
928	内部研修だけでなく、外部研修に費用を出している。専門的な知識のある(大学の学部、職歴)人材のみを採用している。NPO法人で働く事への理解を求める。ミッションを共有する。運営する理事との顔合わせをする。	子どもの健全育成	1,000～3,000万円未満
958	非正規のヘルパーの若手人材に、より上位の資格を取れるよう援助、教育する。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
968	福祉施設なのでスタッフには常に人間力、人間性を深めるよう教育している。	無回答	5,000～1億円未満
972	福祉団体の為、障害者に理解する様、講習会、勉強会等に参加している。	NPO支援	1,000～3,000万円未満
994	殆どボランティアでスポーツの指導をしていただいておりますが、指導者の資質、指導力の向上の為、勉強会の企画、指導資格取得の場合の経費はクラブで行っています。	学術、文化、芸術、スポーツ	1,000～3,000万円未満
996	本協会の活動を担う園芸療法士・国芸福祉士が地元にはほとんどいない為、被災者支援の要請があっても活動に限られる。故に人材育成が急務。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
1008	未経験でも積極的に採用し、職務の経験、資格取得など本人のスキルアップをバックアップしています。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
1012	無償での資格取得の為の講座を開いている。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
1054	労働法や個人情報保護法などのコンプライアンスと傾聴技法やコミュニケーション技法などのOJTを行うと同時に各種資格取得のためのoff-JTを積極的にやっている。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
資金調達・財源			
47	資本確保のための事業収入の維持。	まちづくり	500～1,000万円未満
285	安定的な資金を確保するために各々の団体にふさわしい事業展開が必要である。当会も十分にはできていない。	学術、文化、芸術、スポーツ	1,000～3,000万円未満
296	一定の自己資金は元より、綿密な予算計画、確実な会計が重要と感じます。人材は集まり、たとえやる気があるとしても、資金繰りで頓座する例が多いように思います。又、労働保険、社会保険等の法令遵守も当然の事ながら疎そかには出来ません。	保健・医療・福祉	500～1,000万円未満
422	雇用の増減をコントロールして、人件費と労働力のバランスを取るようになっている。	農村漁村・中山間地域振興	1億円以上
432	公的助成金をかつよして行きたい。	社会教育	0万円超～100万円未満
439	行政の下請にならないよう、運営のための財政基盤を確立するよう、努めること。	環境保全	5,000～1億円未満
597	障害者中心の会なので、行動力がなく、活動を計画運営するのが大変です。障害者中心の団体には優先的に助成金を出してくれるところがほしい。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
638	人材の確保や雇用に当たっては、給与や保険(福利厚生)等を含め、法人自体の財政基盤を確立しなければなりません。しっかりと事業を確立していくことで適した人材を雇用していきたいと思っています。	学術、文化、芸術、スポーツ	3,000～5,000万円未満
650	人材確保には自主財源が必要であり、この財源確保が団体運営の基軸となる。	科学技術振興	5,000～1億円未満
652	人材確保の財源を補助金に頼っているため、長期的に計画して人材を確保することが難しい。	観光振興	5,000～1億円未満
661	人材面より資金面の調達がむづかしい。資金難で継続できない団体が多いと思われる。資金有りきである(ボランティアも資金がいる)。	保健・医療・福祉	0万円
980	補助金で運営しているので職員の人件費をわずかしか昇給できない状態が続いている。人材確保のためには、補助金以外の収入確保を目指し給料を生活するために十分になるように進めていかないと、法人を維持するのはむづかしい。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
981	補助金に頼らず、自力で頑張りたい。	無回答	無回答
1014	無償ボランティアでないと成り立たないNPO。行政が私達NPOの価値を認め、活動(環境教育)に対し手当の増額が欲しい。	環境保全	500～1,000万円未満
489	私どもの団体は、企業名がついておりますが、資金面で厳しい状況です。会員が少なくなっており、また活動に参同をいただきにくいので、ボランティアの確保も難しいところです。企業の運営資金や、労働人数の変化により、変化してしまっています。	子どもの健全育成	無回答
500	資金と人材の確保が最大の問題であり、今後の活動団体は自主的な財源を確保する目安を付けて目標を設定することが重要である。	環境保全	500～1,000万円未満
549	若い方を採用し活躍してもらうためには給与と安定的かつ昇給制度を明示しに支給することが大事ですが、その財源確保が重要です。	環境保全	5,000～1億円未満
640	人材は絶対的に不足しており、特に事務局は理事長1人でまわさなければならない(会計を除く)のが実情です。人件費にまわせる財源さえ確保できれば…と資金不足の問題に根元があります。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
449	国の助成金を活用する。	国際協力	1,000～3,000万円未満
145	NPO法人といえども、ボランティアで活動して下さるかたの人材確保は困難な状況です、NPO法人もしっかりと資金を確保することで、優秀な人材を起用できたり豊かな活動が行えると思います。	保健・医療・福祉	1億円以上
303	運営は常にきびしく、人材確保ができて、シフトをけずったりしないと人材費が確保できない。役員の借入に頼らなければ、人材も確保できない状態におちいる。NPOといえども資金が常に確保できないと、継続できなく、良い人材も長く働ける職場とはならない。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
517	自分たちの会と自分たちのカンパで行っている。中国から大学の学生毎年(6年)ホームステイを迎えている。資金大変。補助金ほとんど望めない。	無回答	0万円超～100万円未満
643	人材を確保するにも、理想を実現するにも資金が必要です。民間金融では事業資金の借入はだめでした。国の日本政策金融公庫に行こうかとも思いましたが法人の仕事より個人の生活も苦しいのであきらめています。震災のせいにはしたくありませんが正直限界を感じている今日この頃です。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
労働環境の整備			
10	「人の和」を最も大切に、日常の運営を心掛けています。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
19	いやがる仕事をおしつけない。	保健・医療・福祉	1億円以上
23	まずは安心して働けるよう雇用状況の安定化(正職員化)、労働条件の整備(納得できる給与、社会保険、休みやすい態制)。信頼して仕事を任せる。経験を積んだら仕事のレベルアップを図れるよう新しい任務を与える。任せるときは任せる!	子どもの健全育成	1,000～3,000万円未満
30	各自の活動に対するモチベーションを高め、維持する為に運営に関する情報をできるだけ共有するようにしている。ブラッシュアップの為に研修を定期的、継続的に開催する。	保健・医療・福祉	1億円以上
33	管理者会議を月1回開くことで運営上の課題分析、解決、方針を日常的に意識、実践できる様になった。法令順守等を確認の日常化。情報の収集・提供のあり方を実践。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
34	企業経営者、行政OB、銀行マン、他NPO法人代表者、教育関係OB、子育てグループ代表など、幅広いメンバーで組織の構成を図っていくこと。	NPO支援	0万円超～100万円未満
36	給料が安い為、スタッフが嫌にならないよう、せめて、人間関係のよい職場にしたいと、意識していること。頑張れば、評価される(給与が増える)しくみ作りを目指している。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
65	組織づくりを新しい視点で展開しています。ピラミッド型ではなく、一人ひとりの力が活かされるように工夫を重ねています。ボランティアと委託業務で、NPO法人を運営し、有給職員を配置しないという方針を現在はおとしています。	男女共同参画	500～1,000万円未満
73	定例会(ほぼ全員出席)を通して、従業員の意見を常に聞いている。従業員が定着するよう人材を大切に楽しいイベントや旅行など企画している。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
78	働きやすいシフト作り。親睦会。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
92	役割、役職にかかわらず、お互い対等な立場で意見交換ができる。コミュニケーションを大切にしている。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
94	来る者拒まず、去る者追わずの精神で、自主的に活動に参加してもらっている。ほとんどの職員が、一旦かかると長期にわたってかかわってくれている。現職員の高齢化に伴い、若い職員の確保が課題であるが、育児中の職員には、長期の育児休暇とか、午前中だけの勤務とか、在宅勤務を認めるなど、各人の都合に合わせた勤務体形がとれるように工夫をしている。子育てが終わった時に常勤職員になってもらえたらと考えている。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
95	運営面において、いかに協力していただけるか工夫されることを望む。例えば、イベント、親睦会、その他花見の会、花火の会等。	まちづくり	100～500万円未満
158	トップダウン運営は絶対に行いません。ゴールは一緒でも、社会へのアピール手段などは各々人それぞれなので、協議の上でゴールを決め、手段は各々人の自主性に委ねるようにしています。代表理事も、絶対性ではなく、当番制?に近いかもしれません。	学術、文化、芸術、スポーツ	無回答
183	コミュニケーションを密にとり、信頼関係を築く。	保健・医療・福祉	1億円以上
195	スタッフはほぼ被災者であり、家庭の事情等大変な所もありますが、シフト制にしたたり、一週間に一度のミーティングを行い、スタッフの意見交換共通理解を深めています。	子どもの健全育成	無回答
196	スタッフ間のコミュニケーションがうまく取れる様、休けい時間等の有効活用。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
219	とにかく、メンバーには楽しんでもらうようにしている。対価を払えていないので心の充実を気を付けている。	災害救援	100～500万円未満
229	バーンアウトしないように支援しています。	保健・医療・福祉	500～1,000万円未満
256	ボランティア参加者が楽しくやれる様にする。①下草刈り等は午前中のみ ②昼にトン汁を作ってみんなで飲み食いする。	まちづくり	500～1,000万円未満
267	ミーティング(話あい)等、コミュニケーションをとる!	子どもの健全育成	1,000～3,000万円未満
268	ミーティング、メールリストなどスタッフ間の連けいを大切にしています。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
276	やりがいのある仕事にする工夫。各々人の得意を活かし、互いに敬意をもって依頼する。受け身にさせない。	子どもの健全育成	500～1,000万円未満
294	一人ひとりを大切に持てる能力を生かし、又それぞれが抱える家庭状況などお互いさまとしてカバーしあえる仲間作りと、自分達がくらす地域に貢献することへの意義を考えられるような、法人を目指しています。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
302	運営の目的に賛同した人達の集まりで進められる団体ではありますが、各々の考えや特に性格の違いがもたらす不協和音で、やめていく仲間が出て来て、一向に組織の結束が図れない。この事をクリアすることが、団体で最も重要かと思えます。その為の一筆として、事業運営の中で時々飲食を伴う懇親会の開催をすることも必要だと思う。頻度が問題で年に5～6回位とする。	子どもの健全育成	100～500万円未満
331	会員相互の交流を密にして、活性化に努めたい。	まちづくり	100～500万円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
333	会話をし、情報をえる。	農村漁村・中山間地域振興	3,000～5,000万円未満
342	各部のリーダーを選び、各部の配置の人材を選びます。特に継続的に運営できるように配慮しております。	学術、文化、芸術、スポーツ	500～1,000万円未満
351	活動(仕事)を長く続けられる様 職員同士のコミュニケーションをとる。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
352	活動が無理なく、興味をもって、楽しんでできる企画を考えるようにした。	職業能力開発・雇用機会	0万円
356	活動を継続させるには思いの共有が大切だと思う。モチベーションの維持と、達成感を活動者のみんなが得ることが必要。	子どもの健全育成	100～500万円未満
367	企業と異なり無償ボランティアの場合、活動メンバーには一定のノルマを要求することが難しい。事務局はそれぞれのメンバーが持っている熱意の強さを把握し、それに応じた活動範囲を定めていかないと目標に達することができない。	国際協力	1,000～3,000万円未満
383	勤務者もあるので活動の曜日を工夫している。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
390	決してうまくいっている訳ではないので、課題として考えている点ということで。①スタッフとの個別面談を年2～3回組みこみ、じっくり話を聞く時間をとること。②理念に共感して集まったスタッフと職安を通して一般求人集まったスタッフが混在している中で、スタッフ間のコミュニケーションスキルをいかに向上させるか。③自分達の団体がいかに意義のある活動をしているのか、社会の評価がこれほど高い、ということが中にあるスタッフには感じづらい。第三者からの話を聞く、客観的に自分たちを見る機会をつくる。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
392	月1回事務局員らによる運営会議を開催し、又、2週間分のスケジュール表を提出させて意思統一を図ると共に楽しい職場づくりに励んでいる。	人権擁護・平和	1,000～3,000万円未満
394	健康であれば長く働けるよう働く意欲をもってもらえるよう、仕事を有償ボランティアを含め、つくりだしていく。働く人に適した内容の仕事をお願いする。働く人同志の連けいを強くする。交流会などをとおして。全体会議でよく話し合う。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
406	原発事故以降、放射能の影響で2年間活動を休止しました。今は、最少となったスタッフで協力して活動をしていますので、楽しい活動(実際は伐採、間伐の重労働です)に心がけ、仲良く活動ができています。	環境保全	無回答
409	現場で働く職員間の連携を大切にしている。職員部会や研修、緊急時連絡会等の定例化を行っている。理事会で、現場の報告や検討事項を話し合い、信頼関係をつくっている。	保健・医療・福祉	1億円以上
420	個人の良いところを活かせる職務につかせるよう工夫しています。	まちづくり	3,000～5,000万円未満
444	高齢者の雇用と女性にあった労働時間対応。	保健・医療・福祉	1億円以上
446	高齢者の集りに中心に絆を考えている。	環境保全	0万円
464	仕事面でもプライベート面でも色々な話を何でもできる関係作り。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
508	事業所の自主性を重んじ、事業所単位の運営をきちんとする。	保健・医療・福祉	1億円以上
538	若い衆が参加し易い環境づくり。	国際協力	0万円超～100万円未満
565	就業規則の整備、職場環境の改善など働き易い、働き甲斐のある職場を目指していきたい。	NPO支援	1億円以上
567	週に一度事業所ごとのミーティングを開き、月に一度常勤職員全員が集まる機会を設けている。	子どもの健全育成	1億円以上
568	従業員のコミュニケーション心がけています。福祉介護の技術向上に工夫が必要。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
577	女性が長く働けるように、残業が無いように業務指導をしています。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
578	女性の多い職場で、様々な条件の方が勤務しているので自分に可能な時間を確認して勤務していただいている。障がいのある利用者の通う施設なので、利用者の活動中、手うすにならない体制をつくっている。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
582	小さな団体の小さな地域の団体なので、日ごろはメールが多いがなるべく顔を合わせ、居ごちよくしていき共に、無理強いはいしない。	まちづくり	0万円超～100万円未満
583	小さな法人であれば、その小規模の良さを生かす(・フットワークのある活動・意見を出しあえる風通しのいい組織づくり)を大切にしてください。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
585	小人数(5名)の為、ミーティング以外でもコミュニケーションはとりやすい。特に工夫はしているつもりはないが、情報等の共有化は人数の多少に関わらず、全対必要条件だと思って取り組んでいます。	保健・医療・福祉	500～1,000万円未満
590	障がい者福祉施設なので利用者(障がい者)個々の特性を理解し支援すると共に内外に明るさを失わないよう心掛けている。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
612	職員は個人の生活にあまり影響が出ないよう、半日単位でシフトを組んでいる。ボランティアに関しても無理のない範囲で活動できるようにしている。	国際協力	500～1,000万円未満
614	職員会議を定期的に行い、問題点、困っていること等出し合っている。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
618	職員同志の連携プレーが重要。	保健・医療・福祉	0万円
619	職場環境の整備(特に給与:待遇面)。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
624	人それぞれの能力に合った適材適所。	NPO支援	1,000～3,000万円未満
631	人間関係に支障をきたさない様に話し合いの時間を多くとっている。	環境保全	0万円超～100万円未満
634	人材が定着するように職場改善(環境、賃金、労働条件等)に取り組んでいます。	保健・医療・福祉	1億円以上
641	人材を育成するにあたり、大事なのは協調性です。職員間のコミュニケーションをはかり、連携して活動する事で、楽しくなり、やりがいも増すと思います。人材の確保については、むずかしいですが、活動が続けて行く中で、多くの方に知ってもらえれば、活動に参加したいと思う方も増えて来ると思います。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
694	専門分野で活躍されている方を中心に、情報をキャッチできるように、会議等コミュニケーションの機会を設ける。	環境保全	1,000～3,000万円未満
700	組織の透明性を図り、外部から加入しやすくする。	保健・医療・福祉	1億円以上
705	組織化はしているが、各人の能力差がある中で、組織上担当者でなくともできる人が消化し、基準化して後継者の業務引き継ぎをスムーズにすることを目指している。	子どもの健全育成	100～500万円未満
717	多様な働き方ができる組織でありたいと思います。フルタイム正社員でなくとも、各人が多様な形で関与できる仕組みを超えることがNPO法人は大事であると考えます。	環境保全	3,000～5,000万円未満
731	短時間労働者は自分都合で気軽に辞めていくのも否めないという現実を直視し、誰がやっても日常業務がスムーズに行われるように常に業務内容をマニュアル化するように心掛けています。労働者が欠勤してもカバー体制がしっかり取れるようにするため、ワークシェアを基本にスタッフ配置をしています。	まちづくり	1億円以上
769	適材適所、各人の得意な分野の仕事をしてもらう。意欲をそがないようにする。但、オーバーワークにならないようにコントロールする。日常の活動に追われ、コミュニケーション不足になりがち、ワークショップ等で当法人の目的・活動を再確認し、気持ちよく活動できるようにする。	環境保全	1,000～3,000万円未満
788	当会理事が各事業部門の責任者になり、それぞれの特色を出して、地域のために活動している。小さなNPO法人ですが、理事長のワンマンでの会の運営は上手く出来なと思います。当会では理事会で各事業について検討し活動しますが、活動の流れは各理事が担当する事業内で各自の考えを取り入れて、ルールに従い自由に担当理事が責任を持って活動出来るようにしています。	まちづくり	100～500万円未満
827	働きやすい環境を整える(労働時間・有給・相談等)。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
829	働く人の生活にあわせた働きやすい時間設定や環境づくり、育児中の人が急な子供の病気等でも休みやすい体制とふんい気作り。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
830	同じ活動目的を共有できる人材と出会うために事業、会計についての情報公開を心がける。日常の活動に追われると、ボランティアが関わる余地がなくなるため、常に優先順序を確認し、活動を合理的に行う工夫をする。	NPO支援	5,000～1億円未満
916	特に管理組合に対する相談活動が主業務ですので、団体内の意思疎通を重視し、少人数ですでのいろいろな業務ができるようにして活動しています。	まちづくり	1,000～3,000万円未満
922	特技を活かした部分をほめて伸ばす。日々の優先順位を確認し仕事をできるだけシェアし合う。	まちづくり	1,000～3,000万円未満
925	内部のコミュニケーションの円滑。	保健・医療・福祉	1億円以上
953	発足時から関わってきたスタッフと途中採用のスタッフとの、意識の温度差をミーティングでうめていく。被災地では、日々スタッフの生活状況に変化があり、勤務態勢に柔軟に対応。	まちづくり	1,000～3,000万円未満
962	風通しを良くすること。その必要性をトップが自覚すること。	経済活動の活性化	1,000～3,000万円未満
966	福祉の分野で活動していますが、いくつかの事業について職員には、有給の仕事である部分と、全くのボランティアとしての活動との区別をはっきりと説明しています。ボランティア(無償)については、自主性を重視し、強制せず、本人の自由意志にまかせています。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
985	法人の空気を創るのはスタッフの和しかないと考え、何よりもスタッフ同士の協力関係を大切にしています。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
997	本人と話し合える時間を設けている。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
999	本人の生活も視野に入れ、収入面だけでなく、休暇のとりやすさなども配慮し、働いてもらっています。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
1004	毎日ボランティアスタッフが入れ替って担当して居るので、業務内容の引継ぎに申し送りノートを最大限活用している。	無回答	1,000～3,000万円未満
1022	役員に関しては、2006年から75才定年制をしいて、若がえりを促している 役員は全て、2年毎の選挙にて選出している。	環境保全	100～500万円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
1027	役員報酬は0で、役員も一緒に働き、働いた分だけ賃金をもらう事を基本としています。職員の働き方、不満等も身を持って分るので、すぐ解決に結びつけ、意見も対等の立場で言えるよう工夫していること。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
1028	役職や年齢の違いによらないフラットな関係で活動を進めている。	人権擁護・平和	100～500万円未満
1032	有休制度を充実させ、長期休暇が取れる体制をつくった。燃え尽き症が一部に見られた場合、早急に当事者と将来のビジョンを語り合いながら、スタッフのメンタルケアにも留意し、休養を取らせている。	まちづくり	1,000～3,000万円未満
1033	有給・無給問わず、誰もが意見、思いを言いやすいよう意見交換の場をできるだけ多く設け、皆がお互いで、高めあえる工夫をしています。	子どもの健全育成	1,000～3,000万円未満
1035	有給もボランティアも楽しく、生きがいを感じられる職場環境整備。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
1036	有給者と無給者が理解しあって一緒に活動する。	保健・医療・福祉	0万円
1041	理事、会員の意見をとり入れ、有機的な活動を行うことに努めています。	まちづくり	0万円超～100万円未満
1043	理事が中心となって事業を推進している法人です。事務局を除いて全理事が無報酬のため、各理事が関心を持っているテーマにそれぞれ取り組んでもらうよう、問題意識を引き出し事業化することに努めています。職員の時給も地域最賃に近い状況です。勤務シフトや業務分掌等を希望に応じて柔軟にすることで、働きやすく各職員が責任を持って業務遂行してくれるように努めています。	保健・医療・福祉	500～1,000万円未満
1051	立割りの組織体質を作らない。	まちづくり	1億円以上
1052	良い人材にきてもらう為、続けていってもらう為に、就業規則等の整備、給料体系の整備をしています。又、極力、残業がないように皆で努力しています。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
1053	連絡、報告を丁寧におこなうことで、職員同士の連携・協力をはかれるよう努力している。一人の職員が仕事を抱えこんで潰れてしまわないようフォローするようにしている。	保健・医療・福祉	1億円以上
1056	若いも若きも皆で一緒に事に取組むコミュニケーションをしっかりと取る。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
1060	高齢者の中で特に介護関係の仕事をした人で職を離れた人達で構成された組織で支援者も利用者もいっしょになって活動している。又昼食には地産のもの特に家で収穫のあったものを持寄り利用している。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
628	人は宝と思っています。ひとりひとりの意志が表現され、いかされるよう努力することでしょうか。	情報化社会の発展	1,000～3,000万円未満
969	福祉事業をやっています。とにかく「人」がいまいません(働いてくれる人)なので、今いる人とは、コミュニケーションを大切に、ここで働きつづけたい…と思ってもらえるよう…気を使っています。事業を続けていくためには「人」がいないと続かないので…。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
7	「助言」にはならないと思いますが… 経済的には恵まれておりませんので、各人が納得して活動できることとしています。運営方法等、全てをオープンにしています。(情報の共有)	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
231	はたらきやすい時間に仕事のピークをもって行く。シフトにして、時間で帰れるようにする。	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
295	一人一人の居場所に心配りをしている。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
447	高齢者介護の募集を常にハローワークさんに出しているがなかなか募集が来ないのが現状のため特に助言等はありませんが、働きやすい環境なのか給与はあまり高くはありませんが、離職率は低いと思っておりますので、働きやすい職場環境作りが大切なのではないかと思えます。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
615	職員構成を高齢者(定年退職者)1、若手職員2との比率とし人件費の効率化と高齢者の経験を活かし、若手職員の業務の品質向上に役立てた。	学術、文化、芸術、スポーツ	5,000～1億円未満
794	当団体の場合、運営している事業が多種多様あり、チームをもってはいるものの、情報共有しているメンバーが少なくなってしまう。その為、月2回、全員会議(3h程度)を全員参加必須で開催。情報共有とともに、日頃感じていること、不明点の解消をしている。	NPO支援	5,000～1億円未満
975	複数名の職員が専任とならないように、法人内の各職務を多能化して誰でも実施出来るように育成することが必要である。	無回答	3,000～5,000万円未満
347	学生中心の組織のため、人材の流入・流出がはげしい中で運営をしています。代表は学生が行うことで学生らしさを維持しつつ、関わる大人(団体出身者)がどう残り、フォローしていくかが重要だと思います。	社会教育	100～500万円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
その他			
2	当法人は年間140講座(延回数にして1400回)開催している。このため、講座を企画・運営する会員(学習サポーターと称する。)の存在が不可欠である。このため、ボランティア講座の開催、講座企画研修講座の開催や音響・照明の研修講座をとおして、受講生に会員となることを呼びかけている。また、会員に対して定期的に研修を行っている。	社会教育	1億円以上
31	各種の集まりで、若い人に当NPOの活動を話し、興味をもってもらう。	農村漁村・中山間地域振興	1,000～3,000万円未満
61	税理士や社会保険労務士にまかせきりにするのではなく、法令や手続きについて、自分自身で理解しておくことが大切です。	学術、文化、芸術、スポーツ	100～500万円未満
67	他の団体との共同、協同。社会福祉法人と共同でする事業が多い。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
75	当会では、有給職員の確保は、難しいため、事務局業務を、業界団体事務局に、委託している。	科学技術振興	500～1,000万円未満
79	日頃から他団体と関係、人脈を作ることを意識している。(その中から、将来転職され団体の職員になることもあるので)	保健・医療・福祉	3,000～5,000万円未満
86	福祉事業の遂行上は専門学校との交流・連携が必要だと感じています。(当方には弱い部分です)	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
103	1. 会報(2回/年発行)やホームページにより、会のPRに努めている。(新規入会者へのPR) 2. 事業参画を促すため、メールを活用し、事業参加を呼びかけている。	まちづくり	1,000～3,000万円未満
120	ITに強い団体のため、情報コミュニケーションにメールリストを有効活用している。セミナー参加もホームページから集客に効果を上げている。	情報化社会の発展	1,000～3,000万円未満
122	NPOといえど、会社と同じ計画的な運営を行うこと。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
134	NPOの専門性を高めることと、他種とのネットワークや協働を並行することで拡大と事業の公益性向上につながる。	無回答	500～1,000万円未満
157	NPO法人同志のネットワーク化を図った。	経済活動の活性化	1,000～3,000万円未満
169	地位と名誉と財産を持っていない人は必ず世間に勝利する。知恵を生み実行力が出て改革する力が生まれる。	消費者の保護	100～500万円未満
170	きめ細かい入会希望者への対応。定期的な情報提供。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
235	ハローワークや社会福祉人材センター等に求人登録をしているが、有資格応募者が少く困っている。	保健・医療・福祉	1億円以上
237	フォーラムやイベントなどで興味を持った人たちに活動への参加を呼びかけています。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
245	ボランティアに頼り、経費を減らす事と、関わりをもってもらいNPO活動を理解していく事が大切だと思います。	学術、文化、芸術、スポーツ	500～1,000万円未満
255	ボランティア会員として、地域の高校生と連携をはかっています。後援者として育ててくれればと願っています。	まちづくり	0万円超～100万円未満
284	ワーカーズ・コレクティブという、自ら出資し、経営もしながら、自ら労働を担う、雇用でない働き方をしている。メンバー各々の時間の都合に合わせて役割分担し、シフトを組んでいる。しかしながら、メンバー不足は大きな課題です。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
360	活動方針に沿う活動をしている企業、団体へ協力、活動参加を要請、入会の勧めを行っている。	観光振興	0万円超～100万円未満
389	継続することが一番大切。	子どもの健全育成	100～500万円未満
393	月次定例会議で合議したことを実践する。伝聞情報を動かさないように努める。	環境保全	100～500万円未満
402	肩に力を入れず気楽に長くつづけることが良い。	学術、文化、芸術、スポーツ	0万円超～100万円未満
436	広報活動を積極的に知らない知名度を上げられる様に努力している。そのことで人材の確保・定着にもつながるものと思う。	保健・医療・福祉	0万円超～100万円未満
474	思っていることよりも実行してみると思ったよりも事の進が早くできますので是非一歩前に進み、実現してはいかげでしょうか？三年間は大変ですのでその時を乗り越えられては…実行していこうと思いを強く持ちがんばることです。	無回答	1,000～3,000万円未満
504	事業の一環として、エネルギー講座を開催しており、その参加者へ入会のアプローチをしている。	科学技術振興	0万円超～100万円未満
514	自主事業収入が不安定であり、指定管理者制度の元、事業場の運営を行なっているが、管理者ゼロと甚だ厳しい経営状態にある。よって職員給与も世間並みとはいかず、心苦しい中、極力発展的な活動の場面に巻き込むことで職員の「やる気」を引き出している。	学術、文化、芸術、スポーツ	無回答
518	自分たち自らが、色々な所へ出向き、交流を図り人脈を作っていく。団体での講演会や、イベントなどを通じて、関心のある方が来場した時にコミュニケーションを図っていく。	国際協力	500～1,000万円未満
550	若者がすすんで関心をもち参加するような工夫。	環境保全	0万円
580	将来のボランティア確保のため、大学のサークル「覚書」を交わし、協力体制を確保していること。	農村漁村・中山間地域振興	1,000～3,000万円未満

No	問31 自由回答	活動分野	2013年度年間収入
602	常に広報やメディア露出するようにしている。	まちづくり	100～500万円未満
606	情報をキャッチして、それを有効に生かす工夫をしている。そして運営を図っている。(地域にあった)	子どもの健全育成	1,000～3,000万円未満
642	人材を確保するため、ポスターの配布等で自治体にご協力頂いています。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
651	人材確保のために、採用者出身大学との連絡を密に行う。他保育所との連携、講習会への積極参加など。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
709	他NPO団体活動にも積極的に協力して、顔つなぎをして人材ルートの探索を継続している。	まちづくり	100～500万円未満
713	他の団体と連携し、人材の発くつに努めている。	国際協力	0万円超～100万円未満
725	大きな法人でないために、現在のところ労働にみあった十分な給与もお支払できていない状況です。社会福祉法人等と比べて魅力のあるNPOに育てていくのが目下の課題であります。	保健・医療・福祉	0万円
739	団体関係者からの紹介とハローワークを活用し、人材を募集しております。	保健・医療・福祉	1億円以上
745	地域の方との交流を大切にしている。	無回答	1,000～3,000万円未満
747	地域経済に特化したシンクタンクであり、新聞・各種セミナー、自己啓発による知識収集にも多くの時間を割いている。	経済活動の活性化	1,000～3,000万円未満
748	地域密着の法人であり、地域雇用、地元雇用を念頭に進めている。	保健・医療・福祉	無回答
757	長く続ける努力をすること、良いコンテンツを開発&展開すること。	学術、文化、芸術、スポーツ	0万円超～100万円未満
786	当会は、行政より委託を受け事業収入を得ていました。1つの市町村に委託されていたため、入札で落札できず、全く収入が途絶えました。人的配置が難しく多市に関わるができないため、1つの市町村に特化していましたが、このような事態になると会の運営ができなくなります。多くの人材を要員とし、いくつかの事業を展開する必要性を感じます。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
824	働きたに見合う、じゅうぶんな報酬が得られること。子供の養育ができるだけの報酬の額であること。そのことが良い人材を集めるための最重要な要件です。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
937	年6回の研修会を継続、現在37回を数えております。研修会に参加者の中から人材を求め、ボランティア活動に参加される方々が増えおります。研修会は、講師の講演、シンポジウム形式の研修会と併用しながら続けています。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
940	年間約100回の講座(認知症予防)を開催し、受講者の中で当NPO法人の活動に関心を持つ人達が入会している。	保健・医療・福祉	100～500万円未満
947	農(天地の守り人・生産者)と街(にぎわい人・消費者)とをつなぐプロジェクトめぐり市を開催。その都度特集と称して夏野菜・米・冬野菜など販売しているが、食べ方を積極的にPRし、試食も毎回している。レシピを通して街の良さを周知し、自分の住む街を愛してもらうこと。	農村漁村・中山間地域振興	0万円超～100万円未満
952	発足して4年余となります。具体的な事業開始としては3年目ですので、まだまだ、私達の方が周囲から教えていただきたいことばかりです。会のニュース等で現状を理解していただき、協力をお願いすることを当面位置づけています。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
959	美術系大学との連携を深め、院生との共同研究や、とりまとめ制作本の出版など、学生の育成も視野に入れた、子どもの育成支援活動を行なう。それにより、ボランティアスタッフの確保にも増加にもなる。親子で参加、など地域社会も、視野に入れ、企業との連携も大切な、地域貢献になりうると考えます。	学術、文化、芸術、スポーツ	500～1,000万円未満
960	頻ぱんに勉強会を開催し、関心のある層への団体活動のアピールを行い実際の活動に参加してもらうための下地を用意する。	国際協力	0万円超～100万円未満
1002	毎月発行しているニュースレターでボランティア募集をくり返している。	保健・医療・福祉	1,000～3,000万円未満
1005	毎年、“子供で支援環境づくり”をスローガンとし、目的にあった公開講座を開催し、よい講師を招いてその講演に共感し、参加され活動に参加された方々から意欲的にボランティア活動に参加を求められた方々の人材面での努力をしております。	子どもの健全育成	0万円
1006	毎年、保育支援、生活支援を行う人材育成の講座を行っています。受講後、法人の会員に加わってもらって、各々、スキルを登録してもらって、社会資源として再活用を促していく方式で、必要な専門的資格などを活かして、次への事業展開とする方式で、人が財産。	保健・医療・福祉	5,000～1億円未満
1039	様々な団体や、公的機関との人材ネットワークの確立が必要。	環境保全	無回答
1058	高齢者の就職が続きなかな自由時間を持ってなくなっているため、どこのボランティア団体も高齢者の加入者減に苦慮しているのが現状です。もっと行政もボランティア活動の重要性をPRすることで厳しい予算費消を助けることができると共に仕事を離れた人間の働きやすい生きがい作りが寄与できます。ボランティアに参加する意義を全国的にPRすべき。	まちづくり	100～500万円未満

〈自由回答分類の手順〉

問31に対して何らかの文字が記入されていた1,060ケースのうち、「特になし」などの回答を除いた956ケースの回答を分類対象とした。内容が類似していると思われる回答をまとめ、最終的に6つの分類を作成した。この集計結果には紙面の都合上、分類された内容のうちなるべく多様な意見が記載されるよう回答を選択し記載した。

No	F18 自由回答	年齢	性別	活動形態
NPO団体の選択、NPO活動の理解				
55	代表の考えや、NPO法人の活動をよく調べて、活動に参加するようにして下さい。	30代	男性	正規職員
107	NPOの理念に賛同できるかどうかポイントだと思います。自己実現のための活動は、時として毒(NPOにとって)になることがあります。	50代	女性	非正規職員
125	NPO法人で活動している人から話を聞いて決める事。(特に課題を)	70代以上	男性	非正規職員
129	NPO法人で雇用契約を結んで働く場合は、法令順守が徹底されているかどうかを確認すること。NPOはミッション達成に向けて活動していく団体のため、職員としての職責を果たすだけでなく「活動者」としての取り組みが期待されることがあることを理解しておく。NPOは組織基盤が脆弱で人手が足りないが故に、一人で何役もの役割を果たすスキルが求められることを理解しておく。「NPO法人だから軽く働けるだろう、簡単だろう」という考えは大きな間違い。	30代	女性	正規職員
137	NPO法人で働くことは結果、プロセスでありNPO法人で働くことを目的にしないで下さい。	40代	男性	正規職員
162	NPO法人の活動内容には、非営利で助成金をもらう活動がいいのか、少し利益の上がる事業を還元していくのいいのか、よくわからないので、設立した法人の理念や非営利でなくてはならないような事業を見極めていくように、自分の自律した考えを持ってから参加した方がいいと思います。	60代	女性	非正規職員
164	NPO法人の中が広くて良くわからない。又活動が企業と違って「コレです」と明確に決められないことも多いので、情報をできるだけ得るべきと思う。又、労働と対価のバランスも微妙に心に残ることがあるので長期間(数年単価)関る場合は自分の生活をきちんと考えておく方が良くと思う。他人に喜んでもらえるのは嬉しいが…。	50代	女性	非正規職員
174	NPO法人の代表者の活動に注意して就職されたほうが良いと思われれます。(NPO法人を隠れ蓑にして、悪事を働く輩がおるからです。)	50代	男性	正規職員
178	NPO法人の役割、目的等を認識し、自分の考えと合致しているか否か再考することが大事。その出発点を誤ると、離脱したり、目的外の活動に向うことがある。	60代	女性	正規職員
260	しっかりとした経営方針があり、人間的にも尊敬できる管理者がいるところで働くようにして頂きたい。	50代	男性	正規職員
263	すべてのNPO法人がボランティア活動を行っている団体ではない。それぞれの設立活動や主旨を理解するべき。	30代	女性	無償事務局ボランティア
274	その法人の目的や理念などをよく聞いて、自分の想いと重なる部分をよく考え、活動するかを決めること。持っている資格や、欲しい額の報酬が合う、という理由だけでNPOの活動をしていくと、途中でつらくなります。	40代	女性	非正規職員
276	それぞれのNPO法人には、創設者のやむにおえない目的意識があります。先づそれをしっかり理解し損得ぬきで本気で参加して下さい。イベントや楽しいところだけ、チョットしたお手伝い—もちろんそれも主催者としては有難いですが大事なスケジュールでも自分の都合優先では砂を咬む思いがする事が多い。	70代以上	男性	有償ボランティア
371	ミッションだけでなく、経営についても考えている法人を選びましょう。	30代	男性	正規職員
372	ミッションに賛同すること。できなければ働いたり、活動したりしないこと。	60代	男性	無償事務局ボランティア
373	ミッションや行動指針、また自分のやりたいことだけでなく、実際に活動する人(上司、部下、ボランティア含む)や組織の風土がモチベーションを維持するという意味で非常に大事であること。	30代	男性	正規職員
421	一過性の現象に、一喜一憂する事なく、足下を見つめて、職業選択をしてほしい、人生はやはり長い。	60代	男性	無回答
422	一時的な関わりとして考えるのか、ライフワークとしての関わりをかんがえるのかで、NPOへのアプローチ・立場が異なってくると思います。	50代	男性	有償ボランティア
492	活動するだけならミッションが深く共感できればよい。働く場合には、ミッションへの共感に絶対条件だが、その上でどのような人たちが構成され、どのような形で合意形成がされた上で運営している団体なのかについても理解でき、賛同・共感できるかが重要。	40代	女性	非正規職員
502	活動の目的や内容が自分でできること、やりたいと思えることであるか？また、その団体の雰囲気や自分になじめるかどうかを見る。できれば、体験をして、これらのことを簡単にでも理解をし、細く長く関わられると楽しいのではないかと思います。	30代	女性	正規職員
694	事前に見学して自分の考え方や主旨に賛同できるか確認し相互が楽しく自らの成長につながる団体を選ぶ。	70代以上	女性	無償その他ボランティア
717	自身の目で体で確認してから決断しても遅くない。	30代	男性	正規職員
722	自分がどんな社会に住みたいのか、その理想に向かって活動している団体を見つけること。情けは人のためならずです。	60代	女性	非正規職員
767	自分に対するメリットもよく考えて参加すべきだと思います。	40代	男性	有償ボランティア
798	自分の関心の有る分野か？自分のこれまでの体験が役に立つ分野か？この2つの問いに重なる分野を選ぶ事が、長続きする、充実感が得られる秘訣ではないかと思えます。	60代	男性	無償その他ボランティア
811	自分の考えている活動と法人の「ミッションが最も近い」ということが継続につながります。異和感が起きた場合は、しっかりと、ミッションと活動理念を問い直すことです。	70代以上	女性	正規職員
857	自分の理念に則して、働く先は決めるべき、法人格で、労働先を決めることはおろかしいとアドバイスする。	40代	男性	正規職員

No	F18 自由回答	年齢	性別	活動形態
885	実際に関心のある法人でボランティア活動をし、法人の理念をスタッフがみんなで共有し、パッションをもって活動しているところか否かをみると良いと思います。小さなNPOは、経営的に大変なので 収入が得られない可能性があります。しかしながら、運営に携わりながら スタッフの処遇改善を図り伸びていくNPOを支えることはやりがいがあることだと思います。	40代	女性	正規職員
928	収入がある程度見込まれるNPOとそうでないNPOとの違いをまず見ることから、前者は収益事業の内容、後者はミッションをどのように考えたいのかから見極めることが重要。やりたいことが両NPOで自己実現としてできるものを突き進んでほしい。	50代	女性	無償その他ボランティア
1088	沢山の事業をやっている法人はあまり良くないと思う。やりたいことにしぼった活動をした方が良いと思う。	40代	女性	正規職員
1094	団体のことを良く知り、自分に何ができるのかをはっきりさせて、団体と個人との間できちんと確認を行う。「思い」も大切ですが、事務局は団体にとって必要な機能(役割)を意識することも大切だと思います。	40代	女性	正規職員
1145	当法人も含め、多くのNPO法人では、活動に参加(さらには入会)してくれる人集めに苦勞しています。公の精神が失われ、自己中心的な生き方が広まっている中、時間を割いて奉仕活動を共に行っていただけなのは、大変有難いです。始めの内は興味本位でも歓迎してもらえますと思いますが、「自分がどのような働きをすれば、皆の役に立てるか、当該NPOの理念の実現に資するか。」という意識を持って参加してくれると、そのNPOで欠かせない人材になると思います。	40代	男性	無償その他ボランティア
1390	役員や職員の明確なビジョンはあるか?書類上の指針だけで、実際にはその行動が行われていないのではないかと「外部の目」を養ったほうが良いと思う。	40代	女性	正規職員
643	財政基盤と団体のミッションが正しく機能しているNPOに参加したほうが良い。	60代	女性	正規職員
183	NPO法人はあくまで手段なので、本当に何をしたいか、に焦点をあててほしいと思います。	30代	男性	正規職員
194	NPO法人も一般企業と同等と考え、自分の働き場所として考えられると良いですね。	50代	女性	正規職員
770	自分のキャリアを活かして働ける場所ではありますが、社会保険や労働環境の整備などをしっかり確認したうえで入る事をお勧めします。また、NPOだけではなくどんな職業でもそうですが、その職にプロ意識と情熱をもっている人ではないと長くは続かないと思われま	40代	男性	正規職員
53	組織のミッションと、自分のミッションが合致(整合性)しているか。収入(生活費など)を得るためか、自分のミッション(社会貢献など)のためか明確にするべき。	70代以上	女性	有償ボランティア
134	NPO法人で働きたい、活動したいと考える方には、NPO活動目的を十分考慮した上で参加してほしい事、又十分な収入は得られない事も納得の上で参加してほしい。	60代	男性	無償その他ボランティア
148	NPO法人とひとくりにされるが、多種多様な職種・活動があります。自分自身に本当に適した活動を詳細に調べ決め、決断し活動しましょう。	30代	男性	正規職員
151	NPO法人には、会社組織などより柔軟に活動できる分野がたくさんあり、自分の力を発揮できる場も多いと思います。	40代	女性	正規職員
32	一般企業では得ることが難しい「達成感」に、本当に自分が価値を置いているか事前に考えること。NPOの収入に頼らなくても生活できる、生活基盤を整えること。	30代	女性	正規職員
1410	理念の共有ができれば、収入は多くを望めないが、働きがいはある。運営状態が安定しているか、良く決算資料等を調査する必要がある。	60代	女性	非正規職員
895	社会に役立ちたいという気持ちがすべて。そうした気持ちがあるとして、何がやれるか、NPOの定款をよく読んで仲間に入るべきでしょう。	60代	男性	無償その他ボランティア
378	もし、活動するならば、ミッションにコミットできるNPO法人で活動してほしいです。雇用者として働くならば、社会的責任をもって労働者を雇用してる団体かどうかを見極めてほしいです。社会のために活動するNPOであるならば、労働CSRも遵守すべきだと思います。	50代	女性	無償事務局ボランティア
1152	働くならば、なぜそのNPOで活動したいのか、自己分析と会社研究をしっかりして来て下さい。	30代	男性	正規職員
145	NPO法人といってもさまざまなので、やりたいことが明確にあるのならば自分のやりたいことができる組織を探すことが大切。NPO法人だからといってボランティア活動だとか「人のため・社会のため」の活動をしている組織ばかりではないと思う。というか、「NPO法人で働きたい」というのは「株式会社で働きたい」とか「有限会社で働きたい」といっているようなことですか?	30代	女性	正規職員
147	NPO法人とは度のような組織でどのように運営されているのか、等を自分なりに最低限の知識を身に着けておいて欲しい。	50代	男性	正規職員
182	NPO法人は、様々な組織形態の中の一つですから、「NPOだから選ぶ」というのはおススメしません。NPOでなくても社会に貢献している組織は多数存在します。まずは、自分のやりたい事や目的と合致した選択をすればいいと思います。	40代	男性	正規職員

No	F18 自由回答	年齢	性別	活動形態
NPO活動と生計とのバランス				
135	NPO法人で働きたいと思うのではなく、自分がやりたいことがたまたまNPOだったのであれば仕事にすることはいいと思う。仕事として考えるならば、企業で仕事をした方が収入は安定していると思う。	50代	女性	正規職員
3	(職種にもよるが)NPO法人の活動によって得られる収入で生計を立てるのは難しい。しかし、社会貢献できているというやりがいや充実感はとても大きい。生計を立てるための収入は他の仕事で得て、それ以外にNPO法人の活動をするのが無理が無くてよいと思う。また、今までの仕事を定年退職後にNPOの活動をするという手もある。	50代	女性	非正規職員
25	きちんと給料を払ってもらえるNPO法人をさがすことが大切だと思います。NPO側もなまはんなか気持ちで人を雇うことは考えない方がよいと思います。雇用や税金の知識は大切です。	50代	男性	無償事務局 ボランティア
34	活動目標と現実の生活のバランスをしっかりと見通すこと。	60代	女性	正規職員
35	規模が小さく、収入が不安定なところが多い。家庭の主たる収入を得る人が安定した収入を得ていた方が安心できる。いろんな能力を求められ、こなしていかなければならないため、与えられた仕事をこなすことが仕事だと思っている人には向かない。	50代	女性	正規職員
45	収益を得て、仕事として働くなら、年齢を計画的に仕切って実行していくことが必要だと思う。40～50代～60代～ 我々のように収益は求めない。社会貢献のみは、やりがいもあるが、年金などの収入がないとやっつけられない。自分の持ち出しも多い。	60代	女性	無償事務局 ボランティア
50	生活費が欲しいことが1番目的であれば収入の保証のある職業へ就くこと。ボランティア精神を笑う人は不向きである。NPOで働く「覚悟」をして入ってくる。活動や働きながらスキルを上げることを努力を惜しまないこと。人の幸せに敏感になること。	60代	女性	正規職員
81	NPOからの収入をあてにせず、他の収入を得ながら活動を行うと楽しい活動が出来る。	40代	男性	無償事務局 ボランティア
110	NPOは自由なイメージがあるが、法人である事には変わりはなく、高い地域貢献精神はもとより、正確な事務経営能力が求められる。又、非営利である性格上、給与面の低さは覚悟しなければならない。	40代	男性	正規職員
112	NPO活動は、人には感謝されるけれど、収入としては不安定。だから、一家の生計を全て負うのであれば、一般企業に勤めら良いと思う。NPOからの収入がなしでも生活できるのならば、やって欲しい。	60代	男性	無償事務局 ボランティア
142	NPO法人で有給職員として働くのは生活上苦しいのでやめたほうがいいです。	20代	男性	正規職員
153	NPO法人にもよりますが、多くはその仕事で生活が支えられると思わないでください。その法人の行っている活動が、あなたにとって必要なかどうかを十分に検討してください。例え正職員であっても労働法が守られていないところが圧倒的に多いです。	50代	男性	正規職員
157	NPO法人に限らず、自分が現在何を一番大切にしたいかを常に頭の中、心の中で思う事が大切だと思います。お金なのか、家族なのか、自分自身の時間か。それを一番に重きを置いて、かつ働ける場、収入が得られる事があるというのが多分幸福感が大きいと思います。大切にしたい事と仕事へのスタンスにズレが出てくると、キツク感じてきます。	40代	女性	正規職員
167	NPO法人の事務局員は、単なる会社の事務員と違って、ミッションを共有し、自らもその団体に関する専門性を高めて、自分のお給料は自分で稼いでくるくらいでないとダメだと思う。	50代	女性	有償ボラン ティア
176	NPO法人の分野にもよるが、安定的に行政から助成金が出る分野以外では、安定収入を求めることが難しいので、純然たるボランティアで、収入源は他で確保できることが条件である。	70代 以上	男性	無償その他 ボランティア
186	NPO法人は資金力があり、活動時間に制限がない人でないと活動は持続しない気がする。資金繰りなどNPOを維持することが主になりがち。よほど思い入れがある人でないと継続は難しい。メンバー内の温度差も生じる。現実を見つめながらある程度割り切る気持ちも大切だと思う。	40代	女性	正規職員
191	NPO法人は先の見えない団体なのですすめない。自分の老後をまず考え、心配ない、経済的自立をしてから、NPOやボランティアを考えること。政府の政策は全くあてにならないから。憲法でも、解釈でかかってに変わる政府なので、年金も何もあてにならない。	70代 以上	男性	正規職員
199	NPO法人以外の収入で生計を立てることが必要。	70代 以上	男性	無償事務局 ボランティア
220	ある程度家庭を犠牲にしてしまうときもあるので、家庭の理解を得ながらうまく調整して働くことが大事。	40代	男性	無償事務局 ボランティア
236	お金の話題をさけないで条件等を口に出す様にしてから活動して下さい。	60代	男性	正規職員
239	お金をもらう以上、活動＝善意ではなく、それは責任ある仕事なのだと思います。自己満足のために行うものではなく、何かしらの思い、信念を持って取りくむものだと思います。「相手」がいる事なので…。自身がこの地域に根ざして思う事、自身の姿、地域の将来像など…様々思っ取りくんでほしいと思います。	40代	女性	正規職員
251	この収入では、家族を扶養することなどできません。配偶者や子どもとの生活をお考えなら、この職業はおすすめできません。私自身、ほかに就職口がないため、仕方なく福祉関係の事業所で勤務していますが、常に怪我の危険にさらされ、ストレスフルな毎日です。NPOにもいろいろあると思いますが、ほとんど肉体労働でこの程度の収入は割に合いません。余程の強固な志があるならともか、それ以外なら福祉系のNPOは避けましょう。と後進の方にお伝えしたいです。	40代	女性	正規職員
337	ボランティアは、あくまでも無給。ボランティア活動の真髄は、どれだけ見えないところで下支えが出来るかにあります。キーワードは、「自分に期待する」(他人に期待すると裏切られます。)	60代	男性	無償事務局 ボランティア

No	F18 自由回答	年齢	性別	活動形態
438	運営している立場からすると、収入が不安定なので、若いスタッフが必要だが声をかけられない。やる気だけでは生活できないので、収入に見極めをしないと勧められない。正直な現実。	50代	女性	正規職員
582	経済的な余裕あるいは、家族の支え、自己責任問う課題は、有る。非営利と言えど 運営がままならなくなると社会的責任を問われる。守りが法律的に弱い分、ある程度覚悟が必要。	50代	女性	非正規職員
594	結婚して普通に暮らせる収入が欲しいならばヤメとけ。	30代	男性	正規職員
606	現在のNPO法人は、行政から何ら事務員・家賃(給与補助)等の補助・助成は受けられず、すべて自分達で調達するという厳しい環境におかれています。賞与を払いたくても払えないというのが実態で、どこのNPOも、ボランティア精神や“自分達の思い”で活動しているのが現状です。その実態をよく知って欲しい。	60代	女性	非正規職員
646	仕事1つ+ボランティア1つでバランスのとれた人生を。	60代	男性	有償ボランティア
716	自身の生活に無理なく、できる範囲でやる。	40代	男性	無償事務局ボランティア
754	自分にとってのワークライフバランスを考えることが必要です。でもNPOならではの仕事のつながり、やりがいも必ずあります。あなたのちからを必要としている場所があります。NPOの現場で待っています！	30代	男性	無償事務局ボランティア
796	自分の家族が1番です。自分自身で心とお金に余裕ができれば、始めていただいたら良いと思います。	40代	女性	非正規職員
880	自立した生活を営むためには、NPOでは不十分。本職があって、余暇で活動⇨ボランティアという形にならざるを得ないのが、多数の弱小NPOの現実だと思われまます。	60代	女性	非正規職員
913	社会保障等を充実してもらえると、働きやすいと思います。	50代	女性	正規職員
917	若い方が生活できるような給料システム(賃金体系)ができれば、よりバワフルに活動し、活発になると思います。	60代	女性	非正規職員
932	収入と働き甲斐のバランスが片方に偏らないよう。	60代	女性	非正規職員
971	将来、どんどん収入が上がっていくという事は、今の日本のNPOではあまり考えられないです。収入のためではなく、「社会の役にたっている」「他者に喜んでもらえる仕事」という誇りを持って働く事ができる方でないと思ひます。	50代	女性	有償ボランティア
1017	人々に喜んでいただける活動、皆の笑顔にはこちらの方が元気をいただきます。しかし、ボランティアに限りがあるのも事実です。特に金銭面では家族がいると制限されるのも事実です。日々、心でかっとうがあります。	40代	女性	無償事務局ボランティア
1082	退職金なし。賞与もほぼなし。先の見通しもなし。はっきり言って若い方にはお勧めできません。他に収入源があれば働ける環境と思う。理想は高く、やろうとすることはすばらしいことも多いが自分の生活を支える活動ではないので、職業としては不向き。	30代	女性	正規職員
1299	独身の男性なら、その後、結婚した場合、子供を大学に行かせる、家を建てる等、一般企業の社員とは比較にならない程、給料が安く、大学に行くこと、家を建てること等が出来にくいので自分の生活基盤ができれば、定年間際か、定年後にした方が、家族に迷惑をかけたかったので、その旨をアドバイスしている。	60代	男性	正規職員
1300	内部留保を持たないNPOで働く以上、退職金などの老後保障は自身で計画し、貯蓄を行う必要がある。一定の期間を定めて計画的に働くならともかく、従来的一般企業のような就職先として考えることはお勧めしない。	40代	男性	正規職員
788	自分のやりたい事、自分の生活スタイル、両方のバランスをとって続けられる活動を見つけることが、長続きする、両立させるポイントだと思います。活動は継続、発展してこそ、意義のあるものとなり、結婚や出産で、やめるのはとても残念なこと。思いは貫ぬいてほしいと思います。	30代	女性	正規職員
789	自分のやりたい分野や興味のある分野で、時間的なゆとりがあれば活動する方が良いと思う。経済的なゆとりがあれば活動ができると思う。	50代	女性	非正規職員
270	その活動が「好き」かどうか。「経済的」「体力的」「家庭環境」など、「好き」を持続させるための環境の余裕があるかどうかも大切だと思います。	40代	女性	非正規職員
1126	長く続けるつもりならやめたほうがいい。経済面ですごく苦しい。もし、NPO法人で働くなら、労働条件(賃金的事)をしっかりと把握してから就職したらいいと思う。生活でいるだけの賃金がもらえないことが多いとおもう。	50代	男性	正規職員
1024	正義感・献身、義理、人情の感情で思い立つな。後が続かず、後悔する。経済的余裕がなく、生活能力がなかったら活動するな。時間に余裕がなく、体力的に病的ならばやるな。野心ならば働きたいなどと思うな。自分を美化しない。自己満足に走らない。	60代	男性	無償事務局ボランティア
16	「熱い思い」プラス、継続していくための(組織も自分も)仕組みの2つのバランスが大事と思う。「NPOという働き方」が日本の中で重要な一角を占めていってほしい。	60代	男性	正規職員

No	F18 自由回答	年齢	性別	活動形態
NPO活動前の経験について				
43	社会的資格をもつと活動の範囲が拡大できるので現役時代に社会貢献できる(活用できる)資格をとるとよいのではないかと。NPO法人も財政的苦しんでいる法人が多いと聞いている。	70代以上	男性	無償事務局ボランティア
77	60才前後の男性は会社退職後、介護の世界を一度経験する必要あり。家族の事や自分の将来の事を考えるいい経験をする。	60代	男性	正規職員
83	NPOでの働く場合も会社に勤める場合と同様、組織、グループの一員としての働き方を身に付けていることが重要ですが、NPOに就職してもなかなか働き方の研修や訓練を受ける機会はありません。もしも正社員として働きたいのであれば、できればある程度の社会経験を積んでから関わったほうが、より自分の能力を生かせると思います。	40代	女性	非正規職員
88	NPOで働くのであれば、十分な社会経験・実績を積み、自分で生活できるくらいの経済基盤を持っていれば、働けると思います。	20代	女性	正規職員
108	NPOは「一人はみんなのために、みんなは一人のために」働くところ。自分自身への(給与やスキルアップなどの)還元を考えずに、一度は社会に出て、社会常識や仕事のノウハウなどのスキルを磨いてからNPOに入って、自分の意志で地域・社会を善く変えたいという活動をするべきかと思う。	50代	女性	正規職員
216	ある程度、一般企業等での社会人経験を積んでから、NPOの世界に入る方が対応力、スキルなどにおいてベターだと思います。	40代	男性	正規職員
229	いろいろな社会経験をした方々ぜひ参加するべきである。社会をある程度理解していないと、視野が狭く困難に対処できないことが多いと思う。	30代	男性	正規職員
255	これからの日本の活力は、それぞれの地域での課題解決のための活動充実が不可欠。問題解決力を養おう、日ごろからアンテナを張り巡らし地域社会に自分から入ってゆくよう心掛けるとよい。	60代	男性	無償事務局ボランティア
428	一度民間企業で仕事をして、世の中のヒト、カネ、モノの流れを、理解した方が運営しやすいと思う。思い、理想(夢)だけでは運営していかれません。	無回答	無回答	正規職員
447	何でも出来るようにスキルアップしておく。	60代	男性	正規職員
481	学業は幅広く、柔軟に思考できるように、常に研究姿勢も兼ね備えていること。	60代	女性	無償事務局ボランティア
545	技能力、事務力をつけていることが好ましい。誰でもどこでも求められる。	70代以上	男性	無償事務局ボランティア
573	経営マネジメントのプロではなく、現場からの経営者が多いので、労務管理がずさんな場合がある。自分自身もリテラシーを高め、交渉力を高めた方がよい。	40代	女性	非正規職員
612	現役時代から、主たる職の他に、地域と関わるボランティア活動に参加することはとても大事だと思います。	60代	男性	正規職員
617	公的資格取得をできるだけ多い方が活動容易である。スポーツクラブの場合スポーツが好きなこと(スポーツ指導資格取得のこと)人の世話、ボランティア精神があること(勤務時間以外の業務が多いため)。	70代以上	男性	非正規職員
843	自分の体験からお話しますと、「これだけは他の誰よりも自分が一番うまく出来る！」という仕事をひとつ持っている、それが起点となっているような知識や情報が集まって来ます。それらを捨てないで引き出しの中にしまっておくと、予期せずに大変役に立つ時が来ます。多くの人員を抱えることの出来ないNPO法人では、一人で何役もこなさなければなりませんので。	40代	男性	正規職員
849	自分の方向性をしっかり認識した上で、参加してほしい。とりあえず・・・といった曖昧な態度では、ボランティア活動を受ける者にとっては、迷惑に感じるケースが出る。	60代	男性	正規職員
1021	数々のボランティア経験や、海外経験、社会に対する課題を持っておいの方が役に立つことがある、専門的な資格があればなおさらよいと思う。	30代	女性	正規職員
1034	生活リズムを確立したうえで、参加すべきである。頼らない心が必要。	60代	男性	無償その他ボランティア
1057	前歴にこだわるな。	70代以上	男性	無償事務局ボランティア
749	自分で仕事を開拓するパワーがないなら、一般企業へ勤務した方がよい。	40代	男性	正規職員
691	事業の幅が広く、事務量が多く幅広い知識と経験が必要と感じる。又、行政とのつながりも深く、指導を仰ぐ姿勢が大切と思う。	60代	女性	非正規職員
54	多様な主体との関係が出てくるため、コミュニケーション能力は必要。必然的に様々な仕事をするようになるため企業での経験が事前に必要。新卒で就職すべきではない。NPO法人への就職を検討した場合、自分が何をやりたいのか、法人として何をしなければならぬかと考え、様々な覚悟を決めて入る必要がある。	30代	男性	正規職員
894	社会に出て、社会の一般常識を身につけた上で活動に参加して欲しい。社会に出ると様々な人との付き合いや、人間関係を作る上で大切なスキルを向上させることが出来ると思う。その上で、今の社会の矛盾や問題点が現れた時に、その問題を解決しようとしている団体に参加することがいいと思う。	60代	男性	正規職員
59	民間企業等でビジネススキルを身につけてからに転職する。働きながらNPO法人で活動する場合は、できるだけ近くにあつて平日の夜にも活動に参加できる団体を選ぶ。仕事内容を選ばずに、活動の継続のために必要なものは何でも担当する気持ちを持つ。	20代	女性	正規職員

No	F18 自由回答	年齢	性別	活動形態
NPO活動を通して得られること				
479	会社員時代より給料は低くなったが、地域に貢献できるなど働きがいがあると思う。	30代	男性	非正規職員
126	NPO法人で活動することで、いろんな分野の人々と知り合いになり自分の視野が広がります。	60代	男性	無償事務局 ボランティア
230	いろんな地域の人たちと交流ができる。周りの人の支えがあることを感じる。	20代	女性	正規職員
242	お声がかかったら参加すること。いろんな面で人生が活性化するものと思います。	60代	男性	有償ボラン ティア
101	NPOの形態にもよりますが、経済的にはきびしくても、意義のある働き方ができ、時間の使い方もある程度自由になる。	50代	女性	有償ボラン ティア
127	NPO法人で活動するならば、運営に関わる立場で活動した方がやりがいを感じられると思います。	50代	女性	正規職員
133	NPO法人で働き、社会や地域の人達とつながり、皆の役に立て、自分の生がい、働きがいを持って、自分の元気、活力の源になっています。	60代	女性	非正規職員
290	とにかく大変ですが、人との関わりが楽しいと思います。	40代	女性	正規職員
326	ボランティアすることは、あなたの「しあわせ」に関係します。有意義な「人生となる為、いきがいを得る為」に大切です。	60代	男性	有償ボラン ティア
342	ボランティア活動は、仕事を定年退職したらとかひまが出来たらとか経済的に余裕ができたというのではなく、いつでもどこでも困っている方や、手助けの声をかけられた場合は、応えて行く姿勢が大切でそれがその人の生き方となり、人生を決めると思う。	70代 以上	女性	正規職員
498	活動の中では目に見えないことを得る喜びがある。相手の喜びと自分の喜びがイコールになったときにやりがいを感じることができる。「させていただく」の気持ちがあれば相手には受け入れてもらえるはずである。活動を継続することが重要だと考える。	70代 以上	女性	無償その他 ボランティア
505	活動は楽しみながら、その中で人の輪が生まれている。その輪に入る一歩を踏み出す事で、見識が変わります。	40代	男性	無償事務局 ボランティア
508	活動を通じて、他地域の全国の同様の活動を行なっている人と交流ができる。行政ができない事やっているという社会貢献意識、自己実現意識を持つことができる。	60代	女性	非正規職員
509	活動を通して、利用者さんの役に立っているという実感は大きなものです。ゆくゆくは私が利用する立場になるかもしれない。自分達のもつ「もの」や「時間」を少しずつ出しあって、住みやすい地域をつくっていくため、人の輪が広がってほしいと思っています。	60代	女性	正規職員
576	経営面で不安定なことが多く、金銭的な報酬は少ないが、似た価値観を持った人たち、仕事に誇りをもった人が多い職場で働ける経験は人生の財産になると思います。	30代	女性	非正規職員
583	経済的には安定していないが、やりがいのある仕事を求めているのなら、ぜひNPOを選んでください。自分で考え、学び、活動していく喜びが得られます。	50代	女性	正規職員
605	現在のNPO法人の立場は税の優遇もほとんど無く認定NPOはハードルも高くNPOで生活していくのはなかなかむづかしいと思います。ただその中でもやりがいはあるのでがんばって下さい。	30代	男性	正規職員
775	自分のスキルを活かして、社会のために尽くすことは、自分の成長にも繋がるし、良い仲間ができ、良いネットワークを作ることができると思います。	60代	女性	無償事務局 ボランティア
890	社会との関わりをもつことで、しかも半ボランティア(有償職員)として活躍できることは、本当に自分を大きく成長させてくれたと思います。ボランティア精神が培われ社会の役に立っていると思えることは、自分にとって、本当に望んでいた社会への関わり方だと考えています。	60代	男性	正規職員
910	社会的認知度の確立とスタッフの待遇の向上が課題。そのNPOのミッション(理念)に共感し、自分なりの働く目的、意義があればやりがい、生きがいがある。	60代	女性	非正規職員
980	障害とは何か。健康者といわれる方に、障害はないのか。普通とは何か。考え直す良い機会になると思います。	60代	女性	非正規職員
981	障害福祉サービス事業は、給料をもらって、一生涯の仕事として、65才まで働くことができる。若い人にとって、安定した職業の一つと言える。障害者福祉に目を向けてほしいと思っている。	30代	男性	正規職員
1003	人のために働く実感は得られると思います。	20代	男性	正規職員
1051	先駆性を大切にして、小回りも効かせながらやれば、やりたいことをやりただけできる。会社よりNPOと思う。	40代	男性	正規職員
1053	専門性を生かしながら伸ばすにはうってつけの職形態かと思えます。NPO＝社会貢献団体のような考え方はうまくいかない。NPOもただの法人格ひとつで、ほかの法人格と変わらず社会の中にある1組織に過ぎないと思うべきである。自分たちのミッションをビジネスとして進めていくことが必要であると考えます。	30代	男性	非正規職員
1102	地域が住みにくいと不満を漏らすなら、自分たちで解決する気持ちよさを選択しよう。骨は折れるけれど、地域に住んで仲間と力を合わせているという当事者感覚は、案外、満足感が得られるものだと思います。	60代	女性	有償ボラン ティア
144	NPO法人という名前がつくだけで、業種柄、行政や社会福祉法人、社会福祉協議会に比べて母体が弱いというイメージがあるようであるが、他の法人と比べて何ら活動内容は変わらず、他の法人と比べると代表者や企業ルールの締め付けがなく、「自分たちが本当にしたいこと」が叶えられる・実現できるのがNPO法人であることを伝えたい。	30代	女性	正規職員
433	一般企業よりは運営方針についても一般職員の意見を取り入れてもらいやすく経営にも参画しやすい。	50代	女性	正規職員
1136	定年退職後に現役時代に習得した経験・知識・人脈等を活用して中小企業やベンチャー企業支援等を、いろいろな形で行う事は老後のボケ防止や生活の張り、健康維持、女房の亭主常時在宅ストレス症候群防止に大いに役立つと思います。	60代	男性	無償その他 ボランティア

No	F18 自由回答	年齢	性別	活動形態
1316	年齢、性別を気にせず、意見を出して働くことができます。仕事内容には満足ですが、昇給、賞与がないので、長く働くほど空しくなることもあります。生活の糧としては若い人にすすめづらいですが、やり甲斐を求める人には良いと思います。	50代	女性	非正規職員
455	何を目的に行うのかを明確にし、より良い活動を行うためには自分がどのような立場であるべきかを理解していくことが必要であると思う。見返りを求めずに活動することが、本当の喜びに代わってくると思う。	40代	女性	非正規職員
704	自己の仕事や活動が、社会あるいは身近な地域に貢献できていることが直接見えやすいのがNPOの活動。特に人と人のネットワークを大切にすることが活動の幅を広げる。企業では、広範な競争市場を相手に事業展開するので、NPOのような成果が肌では感じにくい。そこがNPOのやりがいにつながり、結びつくと思います。ただし、生活基盤が安定しないと自立できないので、企業活動の経験も大いに積んで、引出しをたくさん持ち懐の深い人になることを目指してもらいたい。	60代	男性	非正規職員
1417	臨機応変に対応しなければならぬ事が多く、その分自分の人生に、プラスになる事が経験できますよ。	50代	女性	非正規職員
800	自分の希望する活動分野であれば一般企業よりも自由に自分の能力を発揮できる。また、社会に貢献でき、自分の心が豊かになれるような自分なりの目標や規範を持って臨んで欲しい。	70代以上	男性	正規職員
344	ボランティア活動を共に行いながら、いろいろな経験を積んだメンバーとの交流が人生を豊かにしてくれます。	70代以上	男性	無償事務局 ボランティア
368	まちづくり、顔の見える関係づくりなど、現代社会で忘れられがちな価値観を見直し、作り出し、提案することが出来る有意義な活動だと思います。	50代	女性	正規職員
392	やりがいを感じられる職業や能力が評価されることが、自分自身の成長にも大きく関わってきます。色々な経験から、自己の資質の向上が得られると思われれますので、まずは、一歩踏み出すことをおすすめします。	50代	女性	正規職員
445	何か1つでも地域や社会のためにやりたいことを持って働くことに楽しんでいます。	20代	女性	正規職員
544	軌道に乗るまでは大変ですが、一般企業にない“やりがい”があります。	50代	女性	正規職員
626	行政にはできないようなネットワークの軽さで、ニーズのあることにすぐ対応する民間のパワーはやりがいがあり、自分の財産となる。	60代	女性	正規職員
634	高齢者支援のためのボランティア活動は、定年退職後の唯一の生き甲斐にあたる奉仕と思います。	70代以上	男性	無償事務局 ボランティア
692	事業型NPO法人以外は、生計を立てるのはむづかしい。それは別として、人生の生きがいを見つける活動としてやりがいがある。個人の創意工夫ができる活動である。	70代以上	女性	無回答
734	自分が好きな活動をし、社会へ貢献していると自覚できること。自己満足で良いと思う。	60代	男性	無償事務局 ボランティア
816	自分の考え方やあり方を見つめるために勉強になります。	50代	女性	正規職員
861	自分ではできないと思っていたことが、できるようになるのが楽しいですよ。自立に向かって前向きに行動することが大切です。	30代	男性	非正規職員
878	自分自身も定年近くなり、仕事以外のやりがいを求めて今のボランティア活動に入りました。基本的に報酬はない団体でしたが、若い意欲に燃えた東南アジアの学生さんたちとの交流に啓発されています。社会に貢献できるということは、おおきな喜びにつながり、仕事以外の人たちとのつながりもでき人生を豊かにできると思いますので、無理のない範囲で活動されるといいと思います。	60代	女性	無償事務局 ボランティア
888	社会からの疎外感がなくなり、認知症の予防になるよ。	70代以上	男性	無償事務局 ボランティア
1009	人の役に立つ仕事だと思いますが、その活動が自分自身に返ってくるのが日々実感できると思います。	40代	女性	非正規職員
387	やりがいがあり、今まで知らなかった世界だったが、色々な方と知りあえ、さまざまな経験ができ、楽しく仕事ができます。	30代	女性	非正規職員
94	NPOには不思議な魅力があります。お金では得られない報酬を得る事ができます。それは、ネットワークであり人と人のつながりであったり、情報であったり、その道のNPOには専門性の高い情報が蓄積されています。働いて報酬を得るには、受け身ではなかなか難しい面もあります。起業家のような考え方で仕事を造り出していく部分も必要です。スタッフには、これまであったサービスや発想ではなく、未来に向けた仕事をしていくのだからと話しています。それはワクワクすることでもあります。	50代	女性	非正規職員

No	F18 自由回答	年齢	性別	活動形態
NPOで活動で求められること				
336	ボランティアの報酬は自己研鑽の費用と考え、自分が成長できると考えることをしてください。	60代	男性	無償その他ボランティア
2	入会・退会も自由なので、あまり窮屈に考えない方がよい。気乗りしないことは無理をせず、自主的な判断で行動をすることが長続きするコツと思う。	60代	男性	無償事務局ボランティア
11	「何のために」「誰のために」ということを自分で意識しながら活動を行っていくことが大切！	50代	女性	正規職員
29	ボランティア経験、ボランティア精神があったほうが長続きすると思います。	30代	男性	正規職員
44	主体的に関わって社会を変えて行こうとする熱いハートと同時に、全体を冷静に見て、自分の限度もわかまえるクールな目を持ってほしい。関わっている人達から多くのことを教えてもらって、自分が成長させてもらっているという謙虚な姿勢を持ってほしい。	70代以上	女性	正規職員
46	初心を忘れず、相手の気持ちをよく考えて行動して下さい。	40代	女性	正規職員
49	生き方は多様。社会のあり方を常に一步離れたところからみるくせをつける。日常の中で自分が感じる違和感を大事に育てる、こだわる。	60代	男性	正規職員
56	地元の人にすぐに受け入れてもらえる工夫をたくさんすること。地元の見えない秩序を理解すること。明確な意見をもち、上手に伝えること。	50代	男性	正規職員
96	NPOに関わりたい意思を明確にして、なおかつ、状況に合わせて柔軟に意思を更新できる心持ちがあるとよいと思います。小規模NPOでは多様な仕事を片付けることが求められ、同時に社会貢献していく意識を保持しながら情報収集や計画推進をしていくことが必要だと思います。常に次を考えなければならぬことが課題であり、醍醐味だと思います。	50代	女性	非正規職員
197	NPO法人を立ち上げた時の想いを忘れず自分達の法人の理念を後の人達に引き継いで行ってほしいと思います。	40代	女性	正規職員
211	あなたの活動は、誰かの役に立っていることを忘れないでほしい。	60代	男性	無償その他ボランティア
214	あまり無理をしない事！	60代	男性	非正規職員
244	がんばって向上心をもって活動してほしい。	20代	男性	正規職員
245	がんばらなくていい。	30代	女性	正規職員
248	きっかけは何でも自分で本当にやりたいと思う活動へ参加してください。義理、人情、強制、無目的は長続きしません。活動が負担になったら身を引いたほうが自分のためにも、周りの人にとってもプラスになります。	60代	男性	無償その他ボランティア
271	その人の立場や思いを、まずは受け止め、そこから始まる支援を考えていけると良いと思います。	40代	女性	非正規職員
279	たとえ、ボランティアであっても最後まで責任を持って行動してほしい。	50代	女性	非正規職員
289	とても険しい困難な道ですが、「道は必ず開ける」「社会は必ず変えられる」ことを信じて頑張ってください。家族への感謝を忘れずに。	40代	女性	正規職員
291	どのような社会を作りたいか、それに向かって自分ができることは何かを常に念頭において活動するとよいのではと思います。	50代	女性	有償ボランティア
323	プロの意識を持っていただきたい。	60代	女性	有償ボランティア
328	ボランティアだからといって自分の好き勝手な行動が組織の中で許されるのではない。組織に属している限りルールがあり各々の役割がある。また、ボランティアとは只でもしくは低い報酬で雇える労働者であると解釈している職員が、役所をはじめ企業や団体(NPO含む)でほとんどである。日本では社会通念としても只働きが当たり前。これではボランティアは続かないし育たない。	70代以上	男性	無償その他ボランティア
332	ボランティアの意識をあまり持ちすぎないこと。	50代	男性	正規職員
333	ボランティアの意識を持って仕事に参加をして頂きたいと思います。	50代	男性	正規職員
386	やはりNPOは人と人とのつながりが基本。日々活動が続けていく中でも重要ですが、ミッションと仕事として成果を上げることのずれが生じ悩むときも、信頼できる人がいれば相談できます。自分の周囲に人垣を作る努力をしてください。	50代	女性	正規職員
425	一生の仕事として、とか、一般的な雇用される社員の感覚でNPO法人の活動をするのはリスクが大きいので、専門的な知識・技能・資格を身につけた自立した自営業者のような感覚を持って活動する必要があると思う。	60代	男性	正規職員
485	活動(働く)に、対して専門的な学習意欲は持って欲しい。生活の向上につながる様なNPOの場を持って欲しい←(自分の意欲等で、経済的なものではない。)	50代	女性	非正規職員
488	活動したいと思った気持ちを大切に、長く活動する為に、その環境づくりが必要だと感じています。	50代	女性	無償その他ボランティア
497	活動の対価を求めてはダメ。ボランティア精神に徹しないと長続きしない。	60代	男性	無償事務局ボランティア
506	活動や自分の人生に対して、自分なりのルールや覚悟を持って当たることが大切だと感じます。ただし、上司、部下も含めて、いかに信頼できる仲間を見つけられるかが、充実した活動につなげるためのキモだと思うので、人を見る目を育てることが重要ではないでしょうか。	50代	男性	非正規職員
511	活動期間を明確に決めること。ただだらと続けるより、活動期間を濃く過ごすことが自分にとっても組織にとっても良い。	20代	男性	有償ボランティア
517	活動内容が好きであることが一番であると思います。従の場合はパソコンそのものが好きで、パソコンにさわれる環境で良い場として今のNPO法人があったということです。	50代	男性	無償その他ボランティア
524	感謝される事を、期待しない方が良いと思います。	60代	男性	正規職員
525	感謝の言葉を糧にする。報酬はストレスとなる。	70代以上	男性	無償事務局ボランティア

No	F18 自由回答	年齢	性別	活動形態
602	原点である「ややおせっかい」を身近なことから、行うことと思います。現在の日本ではむずかしいところもありますが、良い方向へ行っていることは確かだと思います。	60代	女性	無償事務局ボランティア
728	自分が一番関心のある活動にかかわること。自分の意見を率直に表現し、かつ他の意見を尊重して、自己啓発を継続すること。	70代以上	女性	無償事務局ボランティア
769	自分のキャリアプランをしっかり持っていれば、多少のことではモチベーションが低下したり、精神的不健康になったり、将来への不安を持ちすぎずに活動できると思います。	30代	女性	正規職員
774	自分のスキルアップ、自分のためなる(将来)と思い、出来る事を続ける事が大切。	60代	女性	有償ボランティア
867	自分自身が、これからどう生き、老い、死ぬかを考え、それをNPOでの活動に重ね合わせる事が大切。	60代	男性	正規職員
901	社会も個人もみな友達。お互いの目を持って、自分自身、社会自身、広い目を持つようにしましょう。その活動の中に、自分自身の個人がある。	50代	男性	無償事務局ボランティア
982	情熱と覚悟を持ち、周囲の人との人間関係を正しくし、自分の能力を最大限に引き出すための努力をする事が、その力を必要としている方々への誠意だと信じます。常に何のために誰のために行うのかを基準点とする事が求められます。	50代	男性	正規職員
990	心身ともに健全な状態で長く活動を続けられるように、自分自身をコントロールできるようになって欲しいです。安易な気持ちで飛び込むのはよくないと思います。	50代	男性	無償事務局ボランティア
1080	体力をつけてください。	50代	女性	非正規職員
1089	誰かのために、が、動機であっても、まずは、自分が活動して楽しいか、が、基本になると思います。貢献は、自分のケアができてから。時々、自分を大切にリフレッシュしてエネルギーを充電しましょう。辛いと思う時、まずは、立ち止って考えましょう。	50代	女性	正規職員
1307	日本人の意識の中に、ボランティア活動を尊重する生き方が根付いていないので、しっかりした志しを持ち、ボランティア活動の価値を自らが高めてゆく資質を持って活動してほしい。アイデンティティーを大切にしてほしい。	60代	女性	無償その他ボランティア
1327	分を知り、分を尽くす！	50代	女性	無償事務局ボランティア
1394	有給でも、ボランティア精神が必要不可欠。	50代	女性	非正規職員
1407	理想と現実とは違う。また人間関係のトラブルも多々あるので、相当な覚悟が必要。	30代	男性	正規職員
678	私の所属している法人は少人数なので、それぞれが運営・企画・会計等携わっていないと成り立ちません。ボランティアではなく「働きたい」なら、何でも屋になることが必要です。	40代	女性	正規職員
1071	他者の喜びを感じる活動に自身が喜びを感じて欲しい。	60代	女性	無償事務局ボランティア
1073	他人から勧められても最終的には、自分の意思、責任で活動する。	50代	男性	無償事務局ボランティア
1105	地域のさまざまな人と話すことで、それまで知らなかった地域の事を知るきっかけになる。自分の街が好きになる。プラスの部分、マイナスの部分さまざま見えてくる。	30代	男性	正規職員
1107	地域の課題に取り組むことは大変おもしろいと思います。しかし、自分たちのやり方が絶対だと思いつままないことも大切だと思います。適度に力を入れ、気長にやることだと思います。	40代	男性	無償事務局ボランティア
1364	無理せず、肩の力を抜いて長い期間、働くんだと言う気持を大切にすれば大丈夫です。	40代	男性	正規職員
1293	特にはありませんが、私が関わっている活動については、しいて言えば、「する人も、される人も、同じ位置に立っているという意識」は、大事なことだと考えます。	60代	女性	非正規職員
614	個人としても長期的な視野・目標を持つこと。法人理念を理解し、法人への貢献、地域への貢献を踏まえた献身的な活動になるが、思いがあればやりがいを感じる事が出来るだろう。	30代	女性	正規職員
818	自分の持っている資格を有効に活用できるようにした方が良い。	70代以上	男性	有償ボランティア
598	健康に十分配慮して活動してほしい。自由(余暇)な時間を最大限活用 家庭家族のことも考えて活動。	70代以上	男性	無償その他ボランティア
670	思っている様に活動はできない。自分の活動を評価してもらおうと考えるならやめたほうがよい。自己満足の活動は、何も残らない。全て、シナリオを持って進めことが大事。	60代	男性	無償事務局ボランティア
898	社会の中で一市民として貢献することは重要で、自分自身のためにもなるのでぜひ勧めたいが、それがNPO法人で実現すべきものであるかNPO法人の理念や使命を正しく理解してから始めた方がよい。	50代	女性	非正規職員
261	しっかりと目的を持って参加して欲しい。社会、人の為への支援の心を広げて欲しい。社会的弱者への思いやりも持って欲しい。	60代	男性	有償ボランティア
267	そのNPOの理念をしっかりと頭に入れ、最初からフルスロットルにならない事。→できる事からやってみる。	60代	男性	非正規職員
347	ボランティア精神があるかないか自問して下さい。	50代	男性	正規職員
541	気持ちの切り換えが上手く出来るようにしてから取り組まないと自分が病む。	40代	女性	正規職員

No	F18 自由回答	年齢	性別	活動形態
その他				
152	NPO法人には様々な活動がありますが、今後、超高齢社会が予測されますので、過疎地の高齢の方々への支援の量が足りなくなると考えられますので、若い方には、そういった方々への配慮をよろしく願います。	60代	女性	正規職員
172	NPO法人の職員(特に事務局長)は経営者としての経験を積めるいい機関だと思います。企業の一社員では満足しない、とはいえ起業はできないと思っている方は、ぜひNPO法人の職員を視野に入れチャレンジしてみたいです。	20代	女性	有償ボランティア
73	1人は、万人の為。万人は1人の為に！	60代	男性	有償ボランティア
78	65才を超え年金生活になっても、働くことによって各種社会保険料を納めることは社会貢献と考えドンドン働きに出ること。	60代	男性	正規職員
87	NPOで働くことが、他の企業で働くことと変わらない社会的ステータスであると考えてよいと思います。ただ、すでにその条件が整っているわけではなく、自ら動いて社会全体への働きかけを行うことで、そのステータスは成り立つのだということが最大の使命であり行動基準です。	50代	女性	正規職員
93	NPOには、正規職員、非正規職員、有償ボランティア、無償ボランティア等、いろいろな活動方法があります。NPO＝ボランティアと考えがちですが、活動内容によっては、正規職員として収入を得る事もできるので、ご自分のライフスタイルにあわせて、1人でも多くの方がNPOに関心をもってかかわってくれるといいなと思います。	30代	女性	正規職員
115	NPO法人＝無償(ボランティア)という考え方が多い。囲りから、趣味でやっているという考え方が多いので、注意。	60代	男性	正規職員
293	とりあえず働いてみるが一番。ダメならやりなおしはいくらでもできますし。ピタツリはまるNPO法人は必ずありますよ！！	40代	女性	正規職員
294	どれだけ人に尽くせるかだと思います。私は進んでみて初めて向いてないのではないかと思いました。実際、経験してみなければ分かりません。なので、まず経験してみたいです。その結果で自分の道を決めて欲しいです。	20代	男性	無償その他ボランティア
322	プライドばかり高い定年退職組に気をつけましょう。想いばかりで実務能力に乏しい、一般企業からのドロップアウト組に気をつけましょう。自分の仕事に自分で責任を持てるなら、活き活き仕事ができると思います。	30代	男性	非正規職員
338	ボランティアは、奉仕の精神であって、暇だからとか時間があるからで活動するもので無い。NPO法人は、将来に向けての無くてはならない仕組み作りだと思っています。	50代	男性	無償事務局ボランティア
375	ムリに興味を持つべき、だとは思いません。でも少し興味があるのなら、一度体験してみたいと思います。人によっては、それが生きがいにも変わることとおもいますし自分がそうだったので、NPOにかかわらずいろんな世界をみて、ここが自分の働きたい、居たい場所だとおもえるものを見つけてほしいと思います。	30代	女性	正規職員
379	もし活動を始めたい！と思うのであれば興味のあるところで一日だけでも自分の出来る範囲でボランティアを経験するのも、勉強になると思います。興味のある事から始める事がいいと思います。現在のNPOに関しては今までのボランティア活動の中では自発的に始めた活動ではないのですが、とても自己精神面においてもとても有益な活動になっています。いつもと視野の違う行動によって、新しい発見や意欲につながり、とても良かったです。	30代	女性	無償その他ボランティア
647	仕事から得られる収入は一般会社と同じであるので、NPO＝ボランティアと思って働くのは、きれいすぎて不可能である。	60代	男性	無回答
733	自分が興味を持ったものは、進んで参加してみるのが1番。納得してダメなら満足するし、次に進めるから。	60代	男性	無償その他ボランティア
870	自分自身として、考え、行動し、志しをもつ仲間と共に具体的に社会を変えていきたいと願うなら、ぜひNPOで働いてほしいと思います。	50代	女性	正規職員
892	社会に貢献することも大切だが、本人は楽しく幸せに活動していること、その姿の示していることが重要だと思う。	50代	男性	正規職員
973	将来のワークライフとして地域づくりや社会的貢献を目指して参加してもらいたいし新たに理念をもってNPO法人設立へ頑張ってもらいたいと思う。	60代	男性	正規職員
1012	人は一人では生きられない。いつか人の手を借りて生活していかなければいけないと今自分が出来るボランティアで共働していきいくことが必要であると。	70代以上	男性	有償ボランティア
76	4人の子を育てた専業主婦です。与えられる環境と条件の中で、できる事をできる限りやってきたら、今のようにNPOの事務局をやめられずにいます。こういう人生もいいかな...と思っています。	70代以上	女性	無償事務局ボランティア
109	NPOは危険、汚い、給料が安い3Kどころではなく、雇用が不安定で、高度なスキルを要求されるという5Kの職場です。モチベーションを保つためにはミッションと、夢を持っていなければ持続出来ません。でも、人はお金だけで生きていくわけではないので、夢を実現させるために挑戦してみてください。国の支援ももっと必要です。	60代	男性	正規職員
201	NPO法人活動に対する心がまえなどは、学校教育で必須としたらよいと思います。	70代以上	男性	無償事務局ボランティア
205	NPO法人設立の条件のしびりが強く、役所への提出書類の数、税務署からの問合せ等、行政からの援助が皆無にもかかわらず強制される事がない。設立趣意にそった活動をするのであれば、法人登記せず、個人又は仲間を集めて自由な活動される事が良いと思う。	60代	男性	無回答
316	ニーズのある活動に限定し、広報活動を責めに行なうこと。	40代	男性	無償その他ボランティア

No	F18 自由回答	年齢	性別	活動形態
471	我国の少子・超高齢者社会は更に進むので、高齢者となっても元気なうちは、これまでの経験と知恵をもってNPO活動に参加し、地域社会に貢献して欲しい。与えるサービスを喜びとして活動することで、自身の健康維持も出来、これにより医療費節約にも貢献できます。また労働力不足を少しでも補うことができると思います。	70代以上	男性	正規職員
520	株式会社とあまりかわらないのでは、というのが、働いてみての印象。NPOという言葉のイメージはあまり持たない方がよいと思う。	20代	男性	非正規職員
526	関係団体との円滑な関係を築くことが望ましい。また、団体内の人間関係が良好であることが大事。	20代	女性	非正規職員
536	寄付の文化のない日本では、なかなかむずかしい組織運営になるとは思います。昔の日本で行われていた「あたりまえのたすけあい」がなくなりつつある今、「共助」としてのNPO法人の活動は大切なものになるのではないかと、思っています。	50代	女性	非正規職員
628	行政等から支援を受けて、NPO法人の活動をおこなっていると、支援がなくなった時、活動が続けられない。自分達で事業を行い、支援がなくても、活動できる環境を作るべきである。活動を広く広めて、多くの支援が受けられる様にする。営利企業が行なわない地域に密着した活動を目指すべきである。	60代	女性	非正規職員
676	私のNPO法人は介護サービス系なのですが、「ありがとう」の言葉の重さがとても感じられる仕事だと思います。生活弱者や交通弱者の方々にはわずかですが自分が必要とされていると感じやがいを感ずみます。給与面がもう少し上がればとは思いますが、まずはやってみる事が大事だと思います。	50代	男性	正規職員
824	自分の収入を確保し、企画や人脈を築き、マスコミを味方に着ける事が大事です。又、著書の出版は、マスコミの注目度も高くラジオやTVに出演する機会を得る事ができます。結果、早く社会に認知される効果が有りました。経験から後進にアドバイス致します。	60代	男性	正規職員
914	若い時から参加して欲しい。	70代以上	女性	有償ボランティア
915	若い時は、やめなさい。	50代	男性	正規職員
1016	人手不足なNPO法人に是非勤めてください。くせになるかもしれないし、嫌になるのかは他の企業に努めるのと変わらないと思います。人の為にできることと合わせて自分もスキルアップができる今の職場と私は思っています。全く経験がない業界も良いと思います。	20代	女性	正規職員
1023	世代によっては、無償で行なう事が「ボランティア」と考えている人が多く居ます。地域の役員や所属会社からの半強制で活動に参加はする人の中には、挨拶に顔を出す程度に捉える方や、無償なので無責任でいい加減にと考えている方も少なからず見受けられます。無償や有償に拘わらず、社会にとって活動が必要な部分や人材の不足に対して、自らの意志で参加し、補う活動や労働が「ボランティア」と呼ばれる様になって欲しいです。	50代	女性	非正規職員
1035	生活を支える時期から晩年に向かい、自分らしい生き方、自分を活かす、社会参加する、社会に目を向ける意味ではこの活動に参加してよかったと思っています。若い仲間が家族を支えながら活動に参加している姿を見ながら、少しゆとりのできた自分が何を助けてあげられるかを考えます。そんな時自分の子供たちも親以外に社会参加している先輩に出会うことを願います。	60代	女性	有償ボランティア
1065	俗世間と称されるサラリーマン社会で有れば、労働の代価としてサラリーを受け取る以上は、正否は別として「評価」が付き物が当たり前は周知の事実です。然し乍ら全てが「自弁」で有るNPO法人の我々の場合では、極めて一部の役員は「汗を流す」仕事を避けるだけで無く、著名・有名人との面談には率先して行方ミーハー。且つ会議では実務担当が用意した紙を読み上げるのみで自論を持ち合わせて無い者が居ても、誰も「猫の鈴」を付ける悪役？が居ない等々。サラリーを貰って居るから致し方なしの時代とは異なり、ストレスは其れ以上で有る実例を取ってアドバイスとさせて頂きます。	60代	男性	無償その他ボランティア
1128	長期的に、生活の一部に活動を考えてほしい。	40代	男性	無償その他ボランティア
1311	熱い思いのある方は、自分でNPOを立ち上げてでも、ぜひ思いを実現してください。	50代	男性	正規職員
955	就職で有利だからとか、そんな理由の人にやってほしくない。志が一つにならなければ前に進んでいけない。何かをしてあげたいという気持ちは、大切ですが“～してあげる”というのは、上から目線だと思います。何ごとも、“させて頂く”心で、望まなければ、つづきません。継続は努力。何でも続かなければ意味がありません。	30代	女性	非正規職員
12	「自分の身を守れて初めて人の手助けができる」とはよく言うことですが、身を守ろうと考えると企業を求めてしまいます。企業とは違った方法を求めるべきで、例えば経営者との対等な人間関係であることがその一つだと思います。	30代	男性	正規職員
1108	地域の中でこまっている事やこんなのがあれば良いなど感じたならばまず作って見る事や自分がやってみたいと思う事だと思し貢献という物でなく見返りをもとめない事かな！！	50代	男性	正規職員
1090	誰かのために少しでも役立っていると思うと、自己満足だが気分は楽しく仕事出来るとおもう。	50代	女性	正規職員
1091	誰かのために働くのではなく、自分が誰かから元気をもらう為に働いているということを忘れないでください。	50代	女性	有償ボランティア
1419	歴史的な流れの中で、人口減、行政の財政難から今の日本を支えるには(多様化するニーズに対応するには)NPO活動が不可欠となる。	60代	男性	無償事務局ボランティア

＜自由回答分類の手順＞

質問項目F18に対して何らかの文字が記入されていた1,422ケースのうち、「特になし」などの回答を除いた1,257ケースの回答を分類対象とした。内容が類似していると思われる回答をまとめ、最終的に6つの分類を作成した。この集計結果には紙面の都合上、分類された内容のうちなるべく多様な意見が記載されるよう回答を選択し記載した。